(明治三十九年九月八日第三種郵便物認可)

京城日報

◎山東省邦人襲撃さる

山東鐵道南川驛附近の土民蜂起し在住日本人を襲擊す爲に行衛不明者數名に達したり(東京電報)

◎更に停戰一箇月の要求

段祺瑞氏は兩湖より一週間を限り返電を求めたる袁總統退職の件に關し返電して曰く內閣は平和解決をなすの議を決し公等要求の件も圓滿に解決すべきなりされど尚商議の確定するを要する點あるが故に更に雲南、貴州、廣西、廣東の四省との停戰を一箇月延長されたしと云へり(上海特電)

◎袁總統親兵を引渡す

袁總統は段祺瑞に對し拱衛軍を引渡せり之が爲段の勢力俄に增大し南京將軍馮國璋は中部各省を纏めて段と結托す可しと傳へらる(東京電報)

◎クラーク非島獨立案否決

米國下院は終にクラーク非島獨立案を百六十五票對二百九十三票にて否決し單に適當の時機到來の節獨立せしむることゝ修正して通過せり而して下院の斯る態度は一般の歡迎する處なるが故に兩院協議會に附せらるゝとも此の上の變化なかるべし(紐育電報)

◎愛蘭叛亂の其後

愛蘭事務大臣オーガスチンビルレル氏は辭職したり愛蘭共和黨の宣言に署名したるもの三名は審問を受けたる後ち死刑を執行せられたり(紐育電報)

◎對米支借款說

支那政府は米國銀行より二百萬弗を借款すべく密かに交涉進行中なりとの說あり(東京電報)

◎製鐵調査會委員

四日製鐵調査會長河野農相以下委員の任命發表せられたり委員は製鐵事業關係の學者實業家等二十名なり(東京電報)

◎渡鮮隊出發期

麻生第三聯隊に於て編成中の新設朝鮮第十九師團步兵七十三聯隊第一大隊本部(大隊長崎山少佐)及び同聯隊第三中隊以下將卒百五十七名は七日午後十一時五十分品川驛發汽車にて大阪に至り同所より汽船にて渡鮮に決定せり(東京特電)

◎福原笠井兩氏來鮮

貴族院議員福原俊丸男、笠井博士は櫻丸にて四日朝釜山着同十時三十分發列車にて京城へ向ふ(釜山特電)

◎高田文相西下

高田文相は四日午前九時三十八分下關著山陽ホテルにて早稻田校友午餐會に臨み午後門司に渡り電車にて戶畑へ赴き明治專門學校を視察し同夜安川邸に一泊の筈なり(門司特電)

◎小田切知事辭職

左遷の評ありし新任沖繩縣知事小田切磐太郎氏は遂に辭表を提出せり(東京電報)

◎總督邸晩餐會

招待者百三十九名

寺內總督は五日午後七時より龍山別官邸に於て晩餐會を開き李王、同妃、李堈公、同妃、李埈公、同妃各殿下をはじめ中樞院顧問並に貴族たる贊議及び其夫人、李王職主要職員及び其の夫人、井口軍司令官、同夫人、立花師團長、同夫人、總督府並に所屬官署長官、局長及び其の夫人、石原宮內次官、志村勸銀總裁、勝田鮮銀總裁、野田東拓副總裁等百三十九名を招待す可しと

◎牧場買收着手

繁殖開始は明年度

本年度の新規事業たる牧場事業は其後諸般の準備着々進捗し牧場の如きも洗浦附近に約一千町步の地を卜して既に之れが買收に着手し技手其他の從業員も又內定せるを以て遠からず其任命を見る可し而して土地の買收次第直ちに約百坪及び五十坪の厩舍二棟外所用の建築工事に移り引き繼き種馬を購入する筈なれば遲くとも本年度內にて全般の設備を整へ明年度より繁殖を開始するに至る可し

◎咸北牛疫發生

咸鏡北道にては四日以來牛疫發生し慶興、慶源、鍾城、穩城四郡に亙りて今日まで既に四十餘頭の發病を見たる而己ならず其勢ひ猖獗にして益々蔓延の兆候あるより道廳にては技術員を增加し警務官憲と協力の上極力撲滅に努め來れる結果、昨今にては大に下火となりたれば不日撲滅を見るに至る可しと

◎高普校長特別任用

高等普通學校長特別任用令は三日樞密院會議を通過可決確定せるは既報の如し從來高等普通學校長の特別任用に就きては各個に詮考せざる可からざりしを以て不便尠からざりしも本令は一般に亙りて特別任用を規定せるが故に同令發布後は同校ゝ增設に伴ひ校長の任命に非常の便を得可く高橋氏の如きも本令に依りて任命を見るに至る可しと

◉聯絡會議

—第三日—

三日は議定書作製の爲め休會、四日は午前十時より朝鮮ホテルにて開會各委員全部列席大屋長官議長席に著き前日議定せし議定書の讀合せを爲したる後

●京綏鐵道接續驛豊台(西直門)を正陽門(前門)に變更の件

●京漢鐵道鄭州に石家莊を聯絡驛に追加の件

其他四案に就き協議し內第六問は提出者支那側より撤回したるより之にて全部の議事を終了し更に既に可決せる案件の實施期、次回開會の時日及び開催地等の打合せを爲したる後大屋長官の挨拶あり之に對し參列委員側を代表してフォーレー氏の答辭あり午後零時過散會せり

◉府尹郡守打合會

京畿道府尹郡守打合會の第四日は四日午前八時より開會當日は各府郡事務に就て打合を爲し四時終了直ちに京城ホテルに於て開會の松永長官の招待宴に出席したり五日は市內の各官公衙を視察し閉會すべしと

●地方土地調査委員會　土地査定に關する土地調査委員會中本月十一日より二十日迄に開會せらるゝもの左の如し

京畿道　楊平、抱川、加平
忠淸北道　丹陽
全羅北道　益山、全州、茂朱、淳昌
慶尚南道　陜川、統營
平安南道　龍岡、大同

◉阪谷男出發

阪谷男一行は四日午前七時十分南大門驛發鮮滿急行列車にて出發渡歐の途に上りたり當日は石原、荒井、大屋、宇佐美各長官、兒玉總務局長を始め總督府高等官、勝田總裁、野田副總裁其他民間有力者等多數驛に見送れり

◉石原次官動靜

離宮地選定の用件を帶びて來鮮せる石原宮內次官一行は二日平壤視察の爲め北行せしが三日午後七時三十分南大門驛著入京再び朝鮮ホテルに投宿し四日は昌德宮を訪問せしと

◉勸銀總裁歸期

志村勸銀總裁は三日午前昌德宮に趨き更に東亞煙草會社を參觀の上同所に於て午餐を喫め午後景福宮內博物館を見夜七時より朝鮮ホテルに寺內總督以下官民招待會を開けり五日は仁川を視察し六日朝南大門驛發汽車にて退京北行の筈なり

◉笠置艦解纜

仁川碇泊中の軍艦笠置は四日午前十時豫定の通り鎭海灣に向け出港せり

◉井上東拓理事東上

東拓理事井上孝哉氏は二十二日東京にて開催の東拓總會へ列席のため四日午前八時三十分南大門驛發東上の途に就きたるが途中大阪及び岐阜縣の鄉家へ立寄り令孃の慶事を擧ぐる由なり尙ほ大阪側東拓大株主が會社改革の氣勢を頃日來盛に揚げつゝあるは事實なるものゝ如く井上氏は之が鎭撫の任をも幾分負ひ居るものゝ如し

◉芳賀醫院長出發

朝鮮總督府醫院長芳賀榮次郎氏は四日午前八時半南大門驛發列車にて東京へ向ひたり

◉坂出技師歸朝期

總督府土木局技師坂出鳴海氏は本月末橫濱入港の汽船にて米國より歸朝、六月上旬歸任す可しと

四日夕刊

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾錢　(郵送料前金)一ヶ月金六拾五錢　三ヶ月金壹圓九拾錢　六ヶ月金三圓七拾錢　▲郵券代用二割增

廣告料　▲五號活字一行金七拾錢▲雜欄內一行金壹圓貳拾錢▲場所指定一行金拾錢增▲三號活字は二行六號活字は五號活字同樣▲活字の一行は五號活字の一行

發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　卷口政太郎

發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

電話番號　編輯局三四五番・一二一番　營業局三三六番・六〇番　振替貯金口座京城三〇〇番

◉重石鑛の下落

三日午後の入電

タングステン鑛の下落に就きては世間種々の風評ありしが米國よりの入電は二日まで何等其模樣なく市價は全然持ち合ひの姿にて鮮內主要取引者たる三井物產の如きも又其下落を否認し居たりしに三日午後の入電は米國の市價に於て約三割の下落を報じ來れりと

◉商議の紙商召集

京城商業會議所にては朝鮮製紙業奬勵の實行方法に就て當業者と打合を要する點ありとし五日午後一時より府內の主なる紙商五名を召集し種々打合を爲す筈なり

◉簡易實業の認可

京城公立簡易實業學校設立の件は愈々本月一日附を以て認可の指令に接したるを以て近く開校式を行ふ可しと

◉忠北織居自動車の發展　忠州鐵山鑛の勃興と共に鳥致院淸州忠州間自動車乘客日に激增し車臺の不足を感ずるに至りし織居自動車部にては今回新式自動車一臺を購入し淸州忠州間に設備したるが四月三十日試運轉に際し忠州官民有志新聞記者を招待し延豐に遊覽を催し午後八時より淸島屋にて發展記念の祝宴を擧げたり(忠州)

仁川

▲商議評議員會　仁川商業會議所にては六日午後一時より同所樓上に於て第二次評議員會を開會し同所本年度經費豫算及び其賦課徴收方法認可の件經費支拂不足金借入の件書記以下任免の件仁川經濟會長より仁川船渠問題移牒に關する件及び寺內總督招待會に於る訓示等を報告し尙定款第八十七條給與規定の制定穀物檢査部存廢に關する件及び賦課徴收規定中修正の件を決議に附すべし▲志村總裁來仁　志村勸業銀行總裁は隨員同伴四日正午來仁商業會議所鮮銀及び十八銀行兩支店並に目下工事中の築港工程を視察し薄暮京城に引返したり

木浦

▲道長官來木　宮本道長官は下阪學務、鈴木官房兩主任、原田金谷三浦の各書記を隨へ二日終列車にて著木官民多數の出迎を受け三吉野旅館に入れるが三四日當地滯在諸官公衙を視察し五日海路榮山浦に至り歸任の筈なり▲林署長披露宴　當地警察署長は一日午後六時より官民の主なるもの六十餘名を木浦ホテルに招待して披露宴を催したるが宴酣なる頃林署長の叮重なる挨拶に次で木村會頭の謝辭、長野木新主筆の所感演說等あり頗る盛況にて散會せしは午後十時なりし▲四月木浦驛狀況　當驛營業成績は左の如しと

乘車人員三千四百五十八人降車三千三百五十四人計六千八百十二人貨物發送千二百八十噸到着千〇六十七噸四小荷物發送四十三噸三到着百十八噸にして收入は客車二千九百六十九圓九十一錢貨車收入四千六十五圓四十六錢小荷物雜收入六百〇五圓九十一錢合計八千七百四十一圓二十八錢

●濟州線好況　朝郵の木浦濟州線は目下公州丸慶實丸の二隻を以て每月八航海を爲しつゝあるが濟州島は昨今景氣恢復し來往貨客の增加したるも殊に同島より粟の移出を見るに至りし爲め每航好成績を擧げ昨年末一航海百五六十圓なりしもの昨今平均二百七八十圓の收入にて乘客も又五十名內外の多數なりと

大邱

▲面費教育費比較　大正五年度に於ける慶北二百七十二面人口百九十萬に對する面費負擔額は三十萬圓にして內地人三十六學校組合人口二萬百八十二に對する組合費負擔十一萬一千五百圓なりと▲學校組合新認可　慶北道に於て近く認可さる可き學校組合は善山郡龜尾、迎日郡興海、淸道郡豐角、英陽郡英陽の四箇所にして又近々中設立認可申請書を提出すべきものは盈德郡江口、寧海、金泉郡知禮の三箇所なり▲邱安自動車復舊　過日來の風雨の爲め大邱義城間の道路決潰し自動車も止むを得ず休業せし邱安間自動車は三日より從前の通り復舊せり▲正誤　二日夕刊府尹郡守會議の項開會日九日とあるは二十九日の誤り

釜山

▲釜山記念公園認可　釜山にては御大典記念事業として龍頭山公園を加工する事に決し若松釜山府尹より其筋へ對し認可申請中なりしが今回愈々認可の指令ありしを以て近日中に起工すべし其設計の概略は頂と廣場に龍頭山神社及び社務所の移轉第二段には稻荷神社を奉祀第三段は堅平なし一千二百坪許り大廣場を作り公會堂の建設敷地に充つると其他山中の道路開修等なり因に本年度中に施工する工費は彼の釜山商業會議所よりの寄附金一萬を以て充當の筈なりと▲商議の報告談　釜山商業會議所議員水野嚴氏は臺灣共進會視察報告談を四日午後一時より商業會議所樓上に於て爲したるが尙ほ引續き同會議所主催御大典式場拜觀團長中村俊松氏の報告談、同團員鮮人吳任圭氏の御大典式拜觀感想談等ありたり席場には商議員、各商工業者、府廳、稅關、其外官民、商修及生徒員等の出席にて頗る盛會なりき▲商議員の記念品　釜山商業會議所にては今回新商業會議所令により舊商業會議所の解散に付同所舊新議員七十餘名に對し記念品として贈るべき赤銅製卷煙草入は京城李王職所管美術品製作所に於て調製中の處三日約半數の三十餘個到著せるが記念品としては好適の優美品なりと▲鯱丸の出動　先頃より春鯖漁期に向ひたるを以て釜山港附近其の他各方面に不正漁業者の出沒せる事は屢報の如くなるが三日午前十一時より橋本釜山警察署長、同小梁川警部、野津憲兵分隊長等は其の不正漁業者捜査の爲め鯱丸に乘じ巨濟島附近迄出動したるが當日は何等不正行爲の者を認めず午後三時半歸署せり▲警部の榮轉　釜山警察署司法部主任小梁川警部は今回統營警察署長に榮轉の命ありしが以て來る七八日頃赴任すべし其後任としては金部警察署長來任の筈なりと

沙里院

▲沙里院衞生組合に於ては五月五日より三日間沙里院邑內春季淸潔法施行を示達せらる▲沙里院公立尋常高等小學校に於ては來る十月頃載寧郡載寧鐵山に春季遠足を試みる由因に四年生以上の希望にして健脚者のみ參加の筈▲遂安郡邑內居住日鮮人は四月卅日官民合同遊山會を催せり會するもの一百餘名にして盛況なり官民融和上最も良き催しなり▲遂安郡楠亭洞金鑛所在地に於ては四月三十日官民會社員合同遊山會を催せり當日は金鑛勞働に從事する人夫を除くの外日鮮支人とも全戶業を休みたり會するもの四百名未た曾て見ざる盛況なり、因に來賓として遂安憲兵分隊長阿久中尉を招待せり

□黄海道延安より

小塊

▲菜の花、紫雲英の眺めはなけれど丘には桃、山には躑躅の今を盛りと咲きいでたる朝鮮の春の汽車の旅路決して樂しからずとせず▲延安白川の道中續々として牛車の來るに遇ふ積めるものは皆金鑛石、山は皆試掘の穴にてあばたの如し、村の名さへ金谷面銀川面の畜名あるぞ面白き、今に重石面タングス里などの名も出づるに至るべし▲碧瀾渡、延安間未墾地の平野は西比利亞原野に似たりと聞く、即ち句あり

一望千里延白の野や風薫る
赤土の原野處々麥の綠かな

年々干魃に苦しむ此の方面の畓も今年は雨多く苗代の種下しも已にすみ農民は今年の豐年を喜び居れり、到る處の村々には昨年の籾の貯藏尚ほ少からず、小田の蛙の繁滋し(二日發)

◎露の禁輸と對露抗議

露國政府の奢侈品輸入禁止に就き此に關する爲替取組を禁止したるを以て我が經濟界に打擊を蒙る事甚しきが故に我が政府は露政府に對し抗議を申込みたるに露政府は右は政府の資金維持上の必要より生じたるものなれば右資金を貸付くか將又戰役迄輸入代金を猶豫さるれば之れを解禁せんと答復せり(東京電報)

◎珍田大使に訓電を發す

米政府は這回移民修正方法に關する件に就き我政府に對し質問し來りたるを以て政府は三日夜珍田駐米大使に訓電する所ありたり(東京電報)

◎阿蘇艦出動準備

帝國軍艦阿蘇艦は某重大任務に服し目下出動準備中なり(東京電報)

◎長沙に革命起る

長沙來電に曰く長沙にて革命亂起り彭慶城にて目下激戰中なり(東京電報)

◎袁總統に退職を迫らん

馮國璋氏は中立十五省の將軍を糾合し袁總統に退職を迫らんとすと傳へらる(上海電報)

人事消息

▲ガード氏夫妻(米國陸軍中尉)　四日朝入京朝鮮ホテルへ
▲加藤定吉氏(靜岡縣代議士)　同日巴城館へ
▲近田技師(土木局)　大分縣へ出張中の處此程歸京
▲荒井技師(同上)　營繕工事調査の爲め三日平壤へ出張
▲國枝技師(同上)　總督府新築廳舍工事材料取調の爲め近日東京及び大阪へ出張の筈
▲秋山殿太郎氏(視學官)　校長會議列席の爲め十四日全羅北道に出張
▲石川源次郎氏(第一生命保險會社支配人)　三日夜來京
▲服部正一郎氏(京城郵便局長)　三日夜出發水戶へ
▲林鬮生氏(全南道技師)　四日午前入京佐伯旅館へ
▲林近寛氏(國軍步兵大尉)　四日午前入京榮館旅館へ
▲後藤武延氏(同中尉)　同上
▲淸水讓氏(同中尉)　同上
▲モーア博士夫妻(英人)　四日朝哈爾賓へ
▲持地六三郎氏(土木局長)　四日朝東萊溫泉へ
▲京城專修學校　職員生徒百三十七名四日朝永登浦へ
▲田所海軍少將(佐世保鎭守府參謀長)　三日午後釜山著大池旅館へ
▲富永惠司氏(總督府翻譯官)　三日出發內地へ

◎四日朝の驛

阪谷男が四日出發するので四日朝の南大門驛は名士多數で賑かであつた、愈々發車といふ際に野田大塊翁は大きな手を出して阪谷男と握手をする、傍で見て居た勝田鮮銀總裁は早速に花役者セーキハンドで送りけりと評す、すると大塊翁も亦默つて居れず、花役者堅き握手の御送別とやる、ハテ崖城博士は何處に行つたであらう(一記者)

▲廣告▼

法人登記公告

廣州地方金融組合登記事項中出資總口數ヲ貳百五拾八口、拂込ミタル出資ノ總額ヲ金四百拾九圓六拾六錢五厘ト變更ス但シ大正四年度末日現在ニ依ル
右大正五年五月一日登記ス
京城地方法院廣州出張所

完全無缺の喞筒
京畿道警務部御試驗濟

京城本町二丁目
熊平支店
電話六二四番
振替京城三二二番
—詳細目錄進呈—

合資會社 吉川製油所 大阪 名古屋
全 ボイルド油　カストル油　殺菌消毒 バクトリユウム　牛脂・ヘッド油　テレメン油　テール油　諸機械油　其他
全 コールタール　アニリンオイル　アニリンソルト　全 ベンソール　殺虫防腐 全 ナフタリン液　クレゾール・石炭酸　木材防腐殺虫 鈴印クレオソート油

東洋一流行の魁
新形 內田式ストロング靴は堅牢優美、價均一割安、保證す
御旅行用 靴と鞄

◎定價表御申越次第
東京市芝區櫻田伏見町角
內田靴鞄製造問屋

指環及時計
仁川本町
糸岐商店
電話三〇七番・振替京城一七一

パゴダ公園のライラック

せのきみとありてぞ花もたのしきを ひとりながむる花のさびしき

◎離宮候補地の踏査
平壤に於ける石原宮內次官一行

昨電所報の如く石原宮內次官は木子宮內省技師及び小林宮內省技手佐古宮內省屬及び岩井總督府技師の四氏を随へ三日午前四時來壤停車場には工藤道長官瀧警務部長本田府尹警察署長憲兵分隊長等出迎たるが一行は直ちに柳屋旅館に投じ休憩の後午前八時

▲道長官の案内にて瑞氣山公園に上り市街を瞰下し四方を展望し府尹警部長等の說明を聽取し九時自動車を驅りて江岸通りに出で七星門に至り大神宮より乙密臺一帶を踏査し三時間に渉りて詳密なる調査を遂げたり本田府尹は乙密臺四虛亭に於て名所舊蹟保存會刊行の平壤の現在及び將來、牡丹臺の戰況並に平壤の包圍攻擊等の書冊及び獨人グランデー氏の設計にかゝる牡丹臺公園の設計書及び公園背景圖其他數種の參考書類を提出して縷々說明し瀧警務部長は

▲平壤の氣候 衞生交通其他風俗習慣等につき詳細說明する所あり斯くて次官一行は平壤山下寫眞技師を呼んで乙密臺一帶外數箇所の寫眞撮影方を命じ午前十一時玄武門より牡丹臺に下りお牧の茶屋に於ける長官の招宴に臨み浮碧樓前にて記念撮影を爲し人力車にて停車場に向ひ三日午後一時卅五分發列車にて京城に歸還せり而して朝鮮離宮設建候補地として平壤が其一に加へらるゝや昨今平壤の噂に

▲離宮候補地の問題にて持切り居り今回石原次官の來壤して實地踏査するに及びて人氣頓に上れり有力なる某氏の談に依れば若し平壤に候補地を選定することゝなれば多分大神宮即ち風光亭より乙密臺に至る中央平地なるべしと（平壤）

◎巡査十八名を擊つ
發作的殺人狂＝上海の椿事

二日夕刻上海に椿事起れり一支那巡査は明かに發作的殺人狂となりたるもの如く午後七時十分北四鐵路へレン、タレースに於て

▲通行人を追跡 射擊し始め四名を殺害し十四名を負傷せしめたりされど狂巡査は支那婦人一名を狙擊せるが居留支那人警吏が走せ付け組み敷かんとしたる際手頸に貫通傷を受けたる狂巡査は北區鐵路を走りて向ふより自轉車に乘り來れる郵便脚夫に出遇ふや鐵口を配達夫の横腹に突付けて發砲し配達夫を即死せしめ其れより三名の葡萄牙人を追擊し三名の內一名に致命傷を負はせ一名に負傷せしめたり彼は更らに人力車にて來かゝれる

▲日本人を狙擊し同人を即死せしめ次で米國領事館員ウイリアムなるものを打ちたるも命中せず通り掛りの市外鐵道客舍に向て發砲し女客を負傷せしめたり此の銃聲を聞き來れる外人警部は彼れを追蹤し狂巡査に近づくや彼は警部に向つて亂射したるより警部は短銃四發を放つて之れに應じ四發共命中し狂巡査は地上に斃れ直に病院に送られたるが生命危篤なり（上海特電）

◎ゴルツ將軍狙擊さる
土耳古の青年黨遂に分裂す

ブカレスト來電に依ればゴルツ將軍の死去は將軍が卓子に倚りて書見をなしつゝありし際に土耳古人にして第十四アナトリヤ聯隊附將校なるアリ、アブデコラーなる者爲に銃劍を以て三回狙擊せられたるものにして將軍は狙擊後二時間にして絕命せり右兇行は四月十四日午後六時に行はれたるものなり君府に於て青年土耳古黨は分裂するに至れり（倫敦電報）

◎大鑿で朋輩を斬付けた上咽喉を突いて自殺を圖る

三日午後十二時頃京城長谷川町百十番地洋服屋山下福二郎方に於て同居中の洋服仕立職人間に刃傷沙汰あり加害者は長崎縣生れの谷川重次郎（二九）にして被害者は同じ仲間の廣島縣生れの久保德市（三九）なるが重次郎は十二時頃俄かに

▲刎れ起きて 隣家の某大工方より鋭利なる大鑿一挺を携へ來り仰向に就寢中なる德市の前頸部目蒐て斬付け長二仙米突深さ左方四仙米突右方二仙米突なる一個所の創傷を負せ鮮血迸るを見て既に絕命したるものと思ひ直ちに戶外に飛出したるに外出先より歸宅したる主人の山下に出會ひ一言云ひ發したる儘又も隣家に闖入し有合せたる細型の鑿を以て我と吾が頸部に二回突き刺し一個所は後頸部に

▲鑿の切尖を 突き拔きて自殺を企てたるも急所を外れたる爲め死に至らず兩名共苦悶し居れるを家人が發見して早速急報したれば本町署より司法主任警部警察醫裁判所よりは檢事書記を隨へて現場に出張し取調べの上兩名共取敢ず最寄なる同町の安東醫院に擔ぎ込みて手當を加へたるが德市の創傷は割合に輕く重次郎は稍

▲重傷なるも 何れも生命に別條なし重次郎は常に德市が何か事情ありて主人山下の妻女を苛めるより家庭に風波絕えざるを重次郎が知りて常に德市を憎みゐたりと言へば多分夫等が原因にて右の兇行に及びたるものならんとの噂なり

◎帛紗包から八十圓 京城黃金町二丁目木靴商李東珪は二日午後三時半頃自宅附近の路上に縮緬の帛紗包一個遺失しあるを發見し拔き見たるに中に現金八十圓及び貯金通帳一冊あり直ちに最寄交番所に屆出でたるが間もなく遺失主より屆出あり兩人共本町署に出頭したる所遺失主より規定の報勞金を交付すべく提出したるに同人は之れを謝絕して引取りたりと

◎幽靈手形を振出し遊廓を荒す大山師

群馬縣吾妻郡岩島村生れ當時京城南大門通三丁目三宅某方居仲介業中島一郎（三〇）は文書僞造行使詐欺取財前科一犯あり宮城縣加美郡色麻村生れ當時京城義州通二丁目鑛山業石母田隆（三二）は詐欺取財前科一犯あり兩名は出獄後朝鮮

▲各所を徘徊中 中島は忠北忠州馬蓮里に重石山を發見したりと稱し四月一日其の出願をなすや既に許可を得て數萬の財產を擲みたる如く吹聽し兩者に於て約束手形を振出すに際し石母田は振出名義人中島が其債權を有する如く裝ほひ仕拂場所を京城第一銀行として恰かも同銀行が其手形面の金額を支拂ふもの、如く見せ

▲之を利用して 一儲けせんと中島は四月五日五百圓及び二千五百圓の二手形を作製し同月七日午後十一時頃京城新町遊廓貸座敷寶榮樓に登樓し電話にて石母田を呼寄せたるに同人は外一名を同伴して來り何れも大盤風を吹かして共に遊興したる上娼妓を擔ぎ上げて遊興費二十五圓及び現金五圓迄を借出して所持の約束

▲手形を交付し たるも何等効なきものとて其の支拂ひを拒まれたり尚兩名は四月十八日午後十一時頃御成町西村某を誘ひ出して他に兩三名の同行者を加へて同夜新町皆春樓に登樓して四十二圓の遊興をなしたるも何れも無一文の事とて西村の所持しゐたる百圓の收入印紙を抵當に押込ませながら兩名の割前分十六圓八十錢は西村へ支拂はず又石母田は『共信社會計主任兼鑛務係主任技師石母田槐南』なる名刺に

▲電話番號を記し 二月二日永樂町の某自轉車商會に至り價格四十五圓の自轉車一臺を自宅に持參させて代金としては例の幽靈手形を交付し自轉車は即時二十五圓に入質し京後も一向に代金を支拂はざりし爲め兩名共本町署に檢擧されたり

■ライラックの薰
□パゴダの此頃の花□

長い〳〵間待ち焦れた花はあはたゞしく散り過ぎて終つた。目の覺める許りの新綠は最早充分に彼等の喜びを滿した今日此の頃パゴダ公園には匂ひもゆかしくライラックの白い花が雪の如うに咲き初めた、若葉にそよぐ初夏の風に追はれた香は名殘なき此の公園に留めて道傍をさまよひ、かに花の薰香は靜かに古い眼石の塔や亭の丹塗の朽ちかけに纏まつては塔の隅々まで薰つてゐる、パゴダのライラックは元前國公使館內に植つたもの一昨年此處に移植したものだと云ふ、ライラックの花の香はよく西の詩人が女の髮の香に類へて歌ふ所のみやびな花である。カフエーの窓に流れて來る花の香に醉ひながらビールの泡の樣に消えて行く春を惜しみ泣くに相應はしき此花よ

活動大寫眞來
シエンキーウイッチ傑作
新版「何處へ往く」長尺
五月三日（水）四日（木）五日（金）六日（土） 四日間開催
會場 壽座
主催 京城青年會

□野菜いろ〳〵
時候、蕨、筍、獨活、春菊、豌豆、大根、胡瓜、里芋、甘藷、夏蜜柑、バナナ、枇杷、苺

▽麥の穗 がむく〳〵と膨らみだした昨今の陽氣に暫らく不自由を感じてゐた野菜物が出盛つて來た此の頃の野菜市場を覗いて見ると今までとは違つて大分珍らしものがある蕗、蕨、筍、獨活などがそれだ蕗、蕨などは新町の裏山、仁川邊りから出てくる初物としては

▽安い物 で蕗が百目三錢、蕨は京城の近在から朝鮮人が持つて來て思ひ思ひに市中を練り歩くので値段は一定してはゐないが之れも三四錢だ、筍は主に下の關方面から來る、四月中旬頃までは品薄の爲大分高値を唱へてゐたが昨今では百目二錢前後になつた獨活は百目四錢位だ此外

▽春菊が もうボツ〳〵出て來た、二十日大根が何れも內地から出廻つて來た、値段は普通の野菜に較べてお話にならぬ程高い此の外に絹豌豆、胡瓜なども珍らしい、絹豌豆は百目六錢位、胡瓜は尾張物で親指大の大さのもので一本四五錢から十錢位してゐる、

▽料理用 に使はれるが臺灣物になると大きさも違うし値段も又一本三錢位である、平凡な野菜では午蒡が一錢二三厘、葱が六厘、里芋が一錢六厘、馬鈴薯が一錢二三厘、甘藷が一錢位、人參が割合に高くて二錢である是等の野菜は今年は昨年に比べて半額から

▽八掛程 廉くなつてゐる此の原因は貯藏品が頗る多かつたのだといふ、西洋野菜ではパセリーにセロリ、サラダ、アスパラガスなどが見える、是等は多く蘇島の模範場から出てくるさうだ、果物では夏蜜柑が盛んに出廻つてくる、ネーブルも可なり多い

▽夏蜜柑 は百十顆位入十貫の籠が蘇產で一圓六十錢、廣島產で一圓四十錢、腐れが非常に多いので安値であつたが三日に著荷した物は少し上向いて來た、ネーブルは石油箱入が一圓五十錢、梨は新潟產で一圓三十錢、岡山物で一圓二十錢、三貫五百目位入である

▽バナナ は色付でも一貫九十錢、林檎は內地物は大半腐敗してゐるので一圓三十錢位を唱へてゐるが次第に安くなつてゆくらしい、此の月から新らしく出るものとしては琉球物の枇杷、草苺などがあるがいづれ中旬過ぎだらうと思ふ

◎圓昇の寺子屋を聽く

三日の晚圓昇の寺子屋を聽く、源藏戻りを略して『なみだにくれゐたる』を枕として語る『源藏戻り』より出づる刀を杖』以下頭みあり、松王の出も首か、せしも『つら改めて戻してくりよ』は稍物足らず『今更に』よろし『長松よく〳〵』より『子許りにつて立歸る』まで、流石々々『身代りの贋首』は平凡『いらざる馬鹿念』押し足らず『眼力光らず松王丸』は背かれしも『相違なし』は物足らず、『玄蕃は館へ。松王は』は區別無きは惡ろし、『天成不思議のなす所、御臺命は萬々年』は論でいふ方好し、『折からに』は『オ、リ、カ』と刻んで云つては如何、『要は騷げご夫は勝す〳〵』區別なし『奧に子供さ』よろし『只一討と切付る』より『不思議の思ひに』まで千代と源藏の掛合の區別明かならず『此經雌子、六字の旗』は好く情を穿つ『御不審元も』は『御不審ご尤も』の方よろしさ思ふ、松王の岡物足らざりしも『口惜しさ』はよろし『思ひましま〳〵』以下の千代の歎きは天下一品、總ての缺點は茲で取返へしたり、松王の泣き笑ひは普通『憚ながら若君樣へ御土產』以下はチトかるし〳〵し、『コリヤ〳〵女房今一』と工夫『御臺若君』は『御臺。若君』とチヨツト切つて地合を分けて語る方よしさ思ふ『師匠は』は『シーショーサー』と語れば糸につく故『シシヤウ』と語り糸を離れては如何、『河原』はよろし、兎に角巧者なる語り口は感服の外なし、是れは素人評なれば圓昇師匠必ず氣に止められな（キ）

一千反限り 新柄奇拔 縞セル 無代女帶地進呈
過去五年間呉服類の斷然安賣にて評判を取つた東京日本橋區本石町一丁目呉服問屋關谷商店にて今回地質丈夫にて柄合の新進奇拔なる一見本毛十圓の品にも負けぬ東京流行縞セル一千反限りの投賣を始めたが而も勿驚一反タッタ一圓九十五錢特別上製一反タッタ二圓五十錢と云ふ法外な丸で只の樣な馬鹿値に投出し且賣出し紀念として優美高尚なる京西陣製の新博多女帶地をセル一反の注文每に一筋宛の無代進呈をなす珠算捨た大見切は流石に用途の廣きセル地の事とて日々大賣行を見る所以也因に地方は男女別年齡を記しハガキにて申込ば柄合親切に選び代金引替送料も實費で送る由

◎ぢの藥 痔疾に病める人に
◎いぼぢ◎はしり痔◎裂痔◎脫肛痔◎痔出血◎痔瘻
ぢ病にて永らくつらい苦しい思ひをなされ種々の御治療や御藥を服せられて効顯なき御方は藥物治療の最後の御試しにハガキにて御照會あれば實地研究の上最もヨククキク妙藥の御療法書を無代で差上げます 東京府下大森新井宿字根岸 中江藥房

東京美人 浮世繪寫眞撮影（重縱五寸横四寸）十五錢△二枚八十錢△三百枚限り一枚四○込順に送附す△郵券代用一割增 申込 東京上野七軒町二八 美術畫會

小資本にて金儲け現る 新案登錄器械にて活動寫眞の興行が輕便に素人にも出來る他に比類なき金儲機械（壹百臺限り壹割引）委細說明書にあり郵券二錢送れ 東京淺草八幡町 振替東京一六六八八 大澤商會

水銀 新著 荷 保稅品有 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四五〇 二七七 振替京城二三五六

わきが 器械療法 是迄如何なる藥でも根治せざりし腋臭の病理を根本的に研究し原因療法を苦心實驗の末今夏始めて發表する腋臭器械療法は素人が自宅で簡單に秘密に治癒の幸福を得らるべし世の同病者は最後の手段として速に本器により加療せられよ詳細ハガキで申込次第說明書密送す 東京神田カヂ町 電話神田七三三 博愛醫院器械部

胃病新藥 マーゲン 胃腸病治療藥 特約店 京城南大門通二 新井藥房 大阪上本町五 田畑保榮藥房

謹告
一金五百圓也
右亡妻吉田ツネ儀旭日生命保險株式會社と契約致居候處今般死去致候に付頭書の金額同社仁川代理店坂倉伊平商店を經て受領致候間此段契約者各位に謹告仕候也
大正五年五月一日 仁川松坂町一丁目十番地 保險金受取人 夫 吉田喜太郎

タオル製造販賣 小野タオル製造所 京城青葉町二 電話一五九〇番 振替京城四一番 （申込ニ依リ印ヘタオル調進可仕候）

外科 內科 花柳病 皮膚病 島崎病院 京城壽町（本町二丁目入） △入院隨時△普通病室隔離病室設備△診察夜九時迄△電話二七三六番

最上醬油 京城本町三丁目 田中支店釀造 電話七六四番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
株式會社 百三十銀行京城支店 京城本町壹丁目 電話長五八番 振替貯金京城一九四三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

消化新藥 柏木ヂアスターゼ 糖化力最强にして効力常に一定す
帝國大學病院 陸海軍各病院 赤十字社病院 公私立各病院 御採用品
發賣元 大阪道修町三 田邊五兵衛 大阪平野町二 岸田市兵衛 東京本町四 田邊元三郎

攝津灘 大塚釀造所吟製 金露 京城本町二丁目 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二〇番

◎共謀して慘殺 山東省萊州府生れ劉相鎬（三七）は外二名の者と申合せ豫ねて知り合なる平安北道……郡外南面馬石洞……然三名にて之を突き倒し劉相鎬は所持の小刀にて唐謹恭の腰部を突き刺し……應にて劉相鎬は死刑の宣告を受けたるが服せず平壤覆審法院に控訴せり

……對し文昌星の抗議を申出でたる際金鍾周なる者惡罵を加へたるを憤慨し四月二日西風強き夜密かに忍び寄り……

……二丁目李奉興方雇人金化春（二二）は外一名と共に知合ひなる金德性なる者と四月十二日午後十一時頃北米倉……

◎連絡船上陸客 三日午前釜山入港新羅丸一二等客（一等二名二等五十九名）宮田儀作……外人二名……

三日午後釜山入港對馬丸一二三等客 勝員、寺野小平、小原啓、中島安兵衛、松井よね子、梶原はつゑ、竹田平治、楢井理、同よしゑ、同幸子、同信子、栗山みさ子、伊政衛、宇部喜武雄、同まさ、龍池茂夫、金森照介、柿木幸助（三等二百五十一名）

天氣 は 晴一時曇 五月五日
日出 午前五時二十五分 日入 午後七時二十六分

京城の城壁（4）
いろ／＼な歴史に富んだ仁王山

内地人で最初に城壁巡りを試みた者は壬申役に於ける鍋島直茂であらう此の事實は最近東京帝國大學の黒板文學博士から總督府學務課小田編輯課長に贈られた當聞集（一名肥前新記）といふ書物に記されてあるがこれは鍋島家の從軍日記體のもので從來人の識らなかつた洵に珍らしい書物である、知つての通り

鍋島直茂は豐太閤の征韓役に加藤清正の軍に屬して京城に來たが

當時自ら漢陽四里の城壁を踏査して大に其の規模の宏大なる事を記して居る、また京城の城壁に就いては昨年八月以來小田編輯課長が研究中であるから何れ不日發表せらるゝ事と思ふが研究の結果はなか／＼面白い事實があるやうです。私はまだ小田課長の發表される以前に兎や角申し上げる事を好みませぬが折角のお催しであるから城壁に關係ある二三のはなしを申しませう、京城の城壁が

李朝太祖李成桂の五年に土城を以て築かれた

ことは御承知の通りであるが現今遺つて居る石城は世宗の時築いたもので當時世宗王は土城の處々が崩壞したのを嘆いた餘り群臣を集めて會議の結果工事を起したものである、併し何分にも夥しい人夫を要する事であるから王は下民の疲弊に陷らぬ事を考へて五穀豐穰の年に起工した事が記されてある、當時此の大工事を完成する爲めに朝鮮八道からは各地の民夫が京城に集まつた賦役の命は先づ今の道長官にあたる觀察使に下りそれからまた郡守に下つて

郡に全道各郡の分擔區域が定まつたのである

（その區畫も面白い問題）

は今でも城壁の石垣に各郡分擔の境界が記された事である、此事は從來あまり人の識らない事實であつて石に鐫んだ文字はよく／＼注意せんと解り難いやうである現に私が南山國師堂の東方一町半ばかりの地點にある外壁で見た文字には長さ三尺幅二尺五寸ばかりの石に『監役判官庫石遠一百五十尺』と記してあつた、これは請り庫有遠なる役人の受持が一百五十尺の間であることを記したもので其の他區域は多く

郡によつて定めた十尺

乃至三四十尺の距離が多く中には百尺以上のものもある。國師堂外壁のは私が杜松の樹の枝をさし込むで置いたから就いて調べられたらよからう、また城壁の石垣には處々に新羅時代の寺院に用ゐられた蓮花模樣の彫刻ある石材が遺るこれは三國史記などを見ても當時京城北門外に藏義寺が建てられた事跡もあるので當時京城には各所に寺院があつたものと見える第三におはなしするのは西大門北側仁王山の懷古である、彼處にはいろ／＼な歴史が遺つて居るが特に面白いのは

李朝第十五代目の仁祖の時仁王山の城壁から興安君瑅が觀戰を試みた

はなしである、仁祖はわが後水尾天皇の寛永元年（三百十二年前）當時の國王たりし光海君の君德修まらざる處からクーデターを起して天下を奪つたのであるが當時其臣下の平安の兵使李适なるもの論功行賞の不滿から反を起して京城に攻め入つた、仁祖は一時忠南の公州に逃れたけれども再び兵を率ゐて李适を討つた、その時李适は王に興安君瑅を

國王に擁立せんとして獨立門外の鞍峴で戰つたが遂に敗北して身を以つて遁れた、當時興安君瑅は味方の旗色如何にと仁王山の城壁から脚下の爭奪戰を觀て居たが形勢不利と見るやこれも遁走した、記錄で見るとその時仁王山から南山までは京城都民の戰さ見物で全山雪のやうに眞つ白くなつたといふことである（總督府學務課加藤灌覺氏談）

城壁廻り
同好の士は振つて參加せよ

▲七日（日曜日）午前七時半南大門小學校運動場集合＝八時出發（時間勵行）

▲順路 南大門＝西小門＝西大門＝佛岩＝無學峴＝仁王山＝彰義門＝白岳＝肅靖門＝城北洞＝東小門＝駱駝山＝東大門＝光熙門＝南小門＝奬忠壇＝南山＝漢陽公園＝解散

▲會費は要せず

▲辨當は各自携帶のこと

▲肅靖門内にて晝食後陸軍砲兵正領魚潭氏の京城の地理＝歴史＝傳說＝兵學上より見たる京城々壁＝戰跡等に關する講話あり

▲途中休憩所二箇所には茶の用意あり

▲參加＝内鮮人隨意

高尙なる趣味を有する諸君

●故高島將軍邸競賣に附さる

東京麻布區簞笥町故高島將軍の屋敷宅地千七百九十三坪と木造瓦葺二階家一棟附屬建物三棟は日本橋呉服町の東海銀行に抵當となつてゐたが四月上旬東京地方裁判所に抵當權實行の申立をなし裁判所は競賣の決定をしたのでいよ／＼十七日最低競賣價格五萬九千八百六十一圓で競賣に附せらるゝ事となつた、浪人を養つて來た故將軍の身後には斯樣な慘めな債務があつたのである（東京）

●原賀華道教授歸京　池坊華道教授原賀七星堂氏豫て京都六角堂池坊家元へ斯道研究の爲め上京中の處此度家元より大日本總會頭職總當位大日本家元華道教授及び一華一席師範の間の許を受け去る三十日歸京倘ほ引續き教授する由

▲團昇五日限り　浪花館に開演非常に好評を博したる女義太夫竹本團昇一座は愈々明五日夜限りにて打揚ぐる由なるが五日夜は特にお名殘として左記語り物の外に大切として滑稽鼎付『の、も、か』の渡しにて一座總掛合にて勤むる由

△御祝儀（入登）△上かんや（遊昇）△阿波鳴戸八つ目（伊達春）△先代萩御殿（長花）△柳六一△廿四孝十種香の段（長春）△合邦（伊達若）△宗五郎子別れの段（團昇）

▲御成座　中村榮一行五日夜の替り狂言は染久松野崎村三場、忠臣藏五、六、七段三場なり

▲大正館　五日より特別寫眞と差替へたりその主なるものは左の如し

△實寫歐洲戰亂諸報△滑稽ジヤガイモ旅宇△喜劇鶯手紙△活劇江戸の俠客稲葉新助全三卷△泰西奇談呪の寶玉全三卷六千呎△新派悲劇小夜子全三卷三十二場

商況

東京株式特電

	三日前場寄付	大引
日本郵船	一九七、五〇	一九七、三〇
東京電燈	……	……
鐘淵紡績	一六八、〇〇	一六九、〇〇
同新	一五九、五〇	一五九、五〇
日本郵船	……	……
東株第一	……	……
東株第二	……	……
東新第一	……	……
東新第二	……	……

債券現物特電

三日川來値段（前日との比較）

東洋拓殖	……
京城電氣	……
朝鮮銀行	……
朝鮮瓦斯	……
南滿鐵道	……

公債直取引特電

四日川來値段（前日との比較）

五分利特別	……
五分利公債	……
一回四分	……
二回四分	……
甲五分	九五、〇〇

深川在米特電

東京期米特電

三日現在高

朝鮮米	一〇四、五一五
臺灣米	八六、二五一
内地米	二、〇三四、六九六

大阪期米特電

	四日前場寄付	後場
四月限	一四、七	……
五月限	一四、五五	……
六月限	一四、六四	……
七月限	一四、六〇	……

高値　安値　止め

大阪株式特電

四日前場

	寄付	高値	安値	止め
期米	一四、〇五	一四、五二	一四、九二	……

銘柄	据込	四日前場止値	三日後場
阪神電鐵	[illegible]	……	[illegible]
京阪電氣	[illegible]	……	[illegible]
南海鐵道	[illegible]	……	[illegible]
大阪商船	[illegible]	……	[illegible]
日本郵船	[illegible]	……	[illegible]
大阪株式	[illegible]	……	[illegible]
東京株式	[illegible]	……	[illegible]
大阪新株	[illegible]	……	[illegible]

大阪三品特電

三日後場

五月限	一一三、二二
六月限	……
七月限	……
八月限	……
九月限	……
十月限	……

下關期米特電

四日前場（押目買底固し）

朝鮮物產特電

馬山改芝	三、〇〇
群山改芝	……
木浦改芝	……
仁川改芝	……
鎮南浦白大豆	……
元山大豆	……

雜報

●砂糖の昨今

京仁砂糖市況は益々亂調の傾きにて當初に於ける同業個人的の暗鬪は今や漸次に擴大して遂に會社間の販賣競爭とならん模樣あり現在大里に對する臺灣糖は或は之が先驅たるべく次では明治も遠からず突發すべしと一大活劇の行けり朝鮮糖界の前途には大に注目せらるゝ……

京城雜穀

大豆は持合の裡にも過著頗なる爲め人氣は小鞘き方なるに引替小豆は品薄にて更に強人氣なり南大門市場にては上物九圓四十錢の唱へなりといふ其他各穀共に前報同樣の成行き也

京城正米

朝鮮一等白米（當用）	十三圓六十錢
同（當用現日）	十三圓七十錢
同二等白米（當用）	十三圓五十錢
同	十三圓三十錢
同	十三圓四十錢
宮川大豆	九圓八十五錢
同	九圓八十錢
元山大豆飛上	十圓二十錢
同大豆	十圓七十八錢
端川游背大豆	十圓七十錢
深川大豆	九圓九十錢

下關相場

△朝鮮白米も不味　其後三百十二俵の超著に過ぎざるも何分内地米の不勢に連れ白米買氣の逆よざる爲め更角賣れ行き捗々しからずして市況面白からず之れが小口の出來値は左の通りなり

確實　迅速
仁川海岸町　取引所仲買人　（マ）南米太郎　電話一六五番　一三〇番

●燐寸マッチバラ投げ

燐寸は其後依然として協定値段は維持されつゝあるも今尚協定者以外の持惱み品少なからず之が爲め金融の關係と既氣によりて資商人ち投物となつて現はれ居れり今後は無論……

●四十圓内輪

●粗布値上確實

●海草類好氣配

南大門の廻穀

仁川現物市場

釜山市場
三日

田中金兵衛
田中金兵衛　電話一六二八番

生魚市場

仁川期米

四日前場

節九十錢と小甘き移

一錢安の入電二

大阪六節

九十九錢と續て高移

依然保合ふ

市場零聞

仲買店
仁川米豆取引所仲買人　（利）　電話九〇番

未だ氣乘らず

一般に氣迷ひ生じ

近日再學を計り
悲觀の重圍に陷

●市場閑散也

●變動の期近し

玉仕入時期強弱兩幹部

依つて高低何れに分岐　全力の優劣

軟派と正米

仁川米豆取引所

四日の七月限

大株の成績

北濱だより

小賣白米

上白米	十四錢
次白米	十三錢五厘

演藝案內

御成座
御成町　電話一一九一

廿三回目藝題　染久松野崎村　忠臣藏五段六段七段目　勘平裁判　全三場

黃金館
黃金町四丁目　電話二六三七

壽座
本町　電話五七八

浪花館
明治町　電話二六〇番

大阪女義太夫大一座　十四日目（四日語物）

壽館
壽町　電話一〇五〇

大正館
櫻井町　電話八七三

クスリはホシ　此外適藥四十餘種　各地藥店にあり　ホシ風藥　引風發熱等　定價十錢、二十錢

るいれきさ病にて　永年苦しむ者を救ふ……に詳細報す　東京巢鴨新田

製品は常に新しくて非常によい　保證の出來る得る乳標にはシビの印は商標であり　我が政府の奬勵製品　ヒシ印ミルク　大阪市　祭原伊太郎

旅館月見館　東京市芝區愛宕町二丁目　茶代廢止　電話芝一八六五番　閑靜清潔交通便利

小兒良藥　樋屋奇應丸　専治　小孩夫神癲癇及發生熱蟲等に奇効神の如し到る處の藥店に有り　樋屋合資會社　大阪天滿橋

リウマチスと神經痛　彼れ是れ迷ふ無く最も能効く良藥神疝湯を試よ現に烈しき神經痛の激痛も夢の如く治り又は頑る難治のリウマチスや數年痼疾の疝氣で惱みし方々が神疝湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し嬉さの餘り感謝な状（現在保存す）一般の閲覧に供すを送らる實例も勘からず若し不幸にも是等の病に惱む人あらば輕症と難症の論なく即刻試みよ神疝湯は家庭の良藥にして今や全國各藥店に有り

せんきにも惱む人は　神疝湯

本舗　名古屋市東區京町二丁目　荒川長太郎

宮本武藏

第二十八回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

兩人支度を致して其場へ立出でたが山本源藤治が『宮本先生藝道は別段のもの、恩義があるからと申して遠慮してはお互ひの修業に相成りませんに依つて充分お打込下さるやう手前も打つべき場合があれば打を入れます』武藏も『仰せの如く手前も打を入れる場合がございましたら遠慮いたしません、何卒悪しからずお思召し下さい』开で双方パッと後ろへ下がつて身構へに及ぶ、時に武藏兩方木劍をブラリと下げた、二刀流表五本の内水形といふ構へ、源藤治は持つて居る木劍を左に振上げる是を眞庭の大上段といつて頭の上へ振上げるのが普通の大上段であるが左りの肩の上へ持つて往く、双方共一流の達人であるから容易に飛込んで往つて打つといふ事はない、碁でも將棋でもさうで下手の奴がやつて居るのは面白い『サア〱好加減にしねへか後がつかへて居るんだ、手前先刻から懸つてまだ勝負がつかねへのか、十五分も經過て居るぢやアねへか』『マア待ちなよ、名人となると長いもんだ』氣樂な奴があるもんで十五分ぐらゐしきや懸らない一時間の中に四番片付いてしまふ、そんな碁があるものか、上手になると何事に依らず容易に勝負はつかぬもの、今宮本が水形に構へて突立つたまゝ暫らくは眼を半眼に閉ぢて無念無想の體、山本も打込まうとは思ふが敵がどう變化するか知れないから暫らく之も猶豫いたしヤアヤツと氣合を懸けて居る、其中宮本の左りに些少の透體が見えました、山本素より誘ひの透體とは心得たが打てといつて透體を見せたものを打たんでは透體が分らんと思はれるのも殘念大喝一聲眞向から打込んだる木劍さしもの宮本打たれたかと思ひの外、パッと變化すると左右の木劍をパチリ合せると十字に組んで山本の木劍を受止めた、宮本武藏先生幼年の折より苦心して發明した十字の構へ此中へ打込んだら如何なる對手といへども敗れを取らずといふ事はない、山本之を破らんと焦る中に、ハラリ十字が解けると左右同時に振上げて山本の面門を打たんと打込んで來る山本飛退つてガツチリ受流し、宮本の打込む木劍は宛然雨の如く、左りが來るかと思へば右が來る、右を拂へば左りが來る、左劍と右劍と目まぐるしいやうに來る、二人を對手にして居るやうなもの、山本一足飛上つて眉間を覘ひ阿伝の一聲諸共に打込まんとすればガッキリ十字に受ける、十字に受けられては破れんに依つて、打込んだ木劍を左りへ引いて宮本の右の小手に打込んで來る、宮本は元來左腕利で左劍を能く使ふ誰も左劍をよく使ふ人はないから右さへ打落してしまへばいゝと思ふを大違ひ、右へ打込みて置いて左劍で打つ、左劍へ打込んでも元來左り利であるから受止める事が出來る、山本も初めてとあるから勝手が分らん

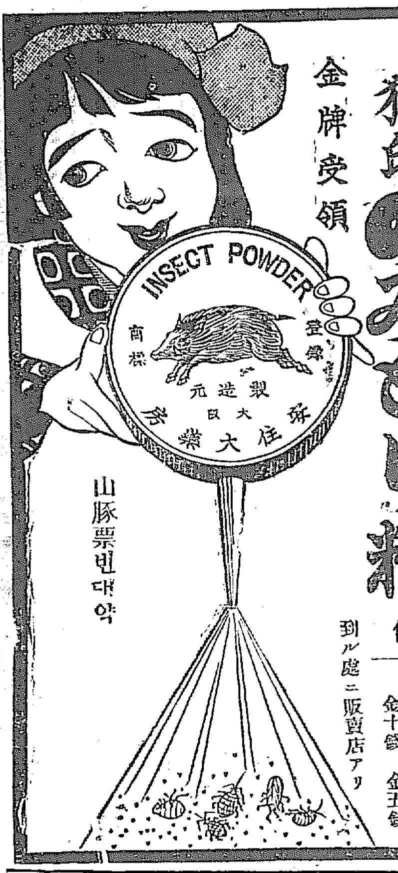
右劍を打落さんと考がへて右の小手を望んで打込んだ、宮本の木劍は一尺八寸山本先生の木劍は念流で二尺四寸ある長劍であるから受ては打たれる、依つて打込んで來ると同時に宮本は右劍をポンと投つた、山本右劍をパチーリ打落とす、其間に宮本左劍を右に取直して打込んで來る、其變化の速かなるは電光の如く、流石の山本飛退つて辛くも之を受けて坐中一同酒に醉へるが如く恍惚として見物して居ります舘にも手に汗握つて控へ給ふ、其中宮本山本の兩人身體甚だ疲勞したる樣子舘は『兩人引け——』家『御兩所お引きなさい』御上意、お引きなさい』御上意といふ聲を聞いたに依つて兩人一度にパッと後へ退つて木劍を捨て平伏をする　舘『聞しに勝る宮本の技倆、亦山本も當家の指南役として美事なもの何れが負けても宜しくない之は相打といたすが宜い、併し宮本の二刀流は珍らしい當家に逗留中家中の者に指南いたし呉れるやう』といふ上意、兩人謹しんで上意を受け、家中一同も其技倆に感服いたしました、其後宮本御盃を賜はり上々の首尾で退出いたす。

花よりも　まづ木村屋のパンの味
京城明治町木村屋電話二八七〇番

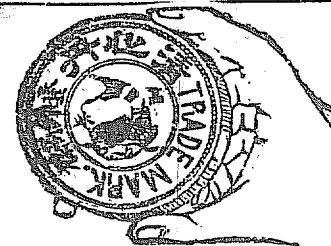
五月六日九星
舊四月五日癸卯
本命七赤西開友引

▲七赤　萬理突にて閉口する事有日注意新事合方は吉暗劔凶▲八白　穏なる日轉居入學才職名弘課旗建築婚姻入組の和を計る等皆吉▲九紫　氣勞を生じなき日新事手控萬事は吉術生に注意せらるべし▲一白　繁昌の日轉居行商入門名弘築造求職縁組水物等を始る等萬吉▲二黒　匿越なる日轉居入學等皆吉女子の心理氣を知られて立身を爲す大有望の日也▲三碧　一寸僻たる事有日新事手控萬事は吉紹介仲入等せめがよし▲四緑　平運の日物の準備を爲は吉新事手控萬事甚闘は妨なし▲五黄　闘のよき日轉居入學等皆吉殊に禁酒禁煙を計るに妙待人來る▲六白　心機闘話の日轉居行商山漁名弘求職婚禮學校設會を開く等皆吉

◉藥劑師となる近道　歐洲戰亂の爲め我が藥業界は日に月に勃興し地方青年にして開學志望者非常に多きも適學の餘暇なき爲め其道を得ざる人々は迅に東京藥學會へ入會せよ同會は行商學講義録は東京藥學校講師神谷藥學士を主幹として同校講師藥學士等門大家十數氏が各々其專門學科を分擔執筆せる講義録で講義懇切平易恰も自宅にて良師に親炙する如く如何なる初學者でも容易に了解する由藥劑師志望者は東京神田表猿樂町廿五東京藥學會へ申込まれよ見本要則は無代進呈する甲



賜天覧御買上
金牌受領
猪印のみとり粉
山豚票빈대약
定價　吹出散布器入　金二十錢
立罐入　金十錢、金五錢
到ル處ニ販賣店アリ



懷中要藥

清心丹は旅行携帯藥として缺ぐ可からざる良藥にして汽車汽船のゑひを快よくすること妙
清心丹は高尚な香氣を含み口熱惡臭を排し咽喉を潤し音聲を清朗ならしむる特効有を以て發館家其他交際場裡の必携劑也
清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし
清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ
清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙
清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を嚙み碎き三四回用ゆれば必ず奇効あり
清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒嚙碎用て大に豫防す
清心丹は人魚の商標と高木與兵衛の名儀へ御注意之上御求を乞ふ
清心丹は定價金一圓(箱入)五十錢(箱入)卅錢十五錢(罐入)卅錢十錢五錢(紙包)の七種あり
清心丹は製造本舗は東京市日本橋區元大阪町八番地にして取次は全國到る所の有名藥店にて販賣す

運動不足の人に

運動不足で腦を使ふ人々は
醫界推奬　次亞燐を用ひよ
▲消化を良くし▲精力を増し▲腦の疲勞を補ひ▲强壯となる
定價　小瓶八拾錢　中瓶壹圓參拾錢　大瓶貳圓也
本舗　大阪道修町　藥劑師　小西久兵衛
▲各藥店にあり

宮内省御買上品

美顏水

■學者の研究發表!!
■新美容素の完成■

▲垢ヌケする成分
▲アレを防ぐ成分

都育の人は一般に山家育ちの人より垢ヌケしてゐます。垢ヌケして居るからこそ都育ちの人は美しいと言はれるので、此「垢ヌケ」が無かつたら目鼻立なぞでは那麽に甚く變つてゐるのではありません。それ故美しくなるのには「垢ヌケ」が一番に必要だといふ事がお分りになりませう。

所で垢ヌケするのには、皮膚の新陳代謝と言つて、陳い汚い表皮を、新しい美しい表皮と入代へる、元來皮膚に具つてゐる作用を一層活潑にさせるのが第一ですが、其作用を極めて活潑にする成分を含んで出來てゐるのが美顏水で、殊に桃谷研究試驗部の學者が發見した新しい美容素を原料に加へてから、美顏水の効力は一層强くなつたので有名です。ですから美顏水を一瓶や二瓶で止めず、朝夕續けて使つてさへ被居れば、垢ヌケした眞に美しい人となられるので、上中流御家庭の御賞用が益々盛なのです。

▲垢ヌケしたお化粧

次に同じお化粧でも、ヤボな田舎臭いお化粧と、スッキリと垢ヌケして如何にも氣持よく美しいお化粧があるものですが、化粧用美顏水で白粉を溶いて附ければ、白粉のノリやノビが非常に良くなり、思ふ儘美しいお化粧が出來、殊に其化粧振がスッきりして垢ヌケのしたホントウに美しいお化粧となりますので、大層重寶がられて居ります。

▲絶對にアレを防ぐには…？

美顏水にはネバリ氣無しに皮膚のアレを防ぐといふ珍らしい成分も入つて居りますから、ネバリ氣を好まぬ方には至極適當です。

▲ニキビ吹出物を治すには…？

又ニキビや吹出物を治すのには、別に「ニキビとり美顏水」がありますから夫れをお薦致します。

▲新美容素を完成したる
桃谷研究試驗部
■顧問　丹波藥學博士　山本醫學博士
■專任　桃谷藥學士　小磯藥學士　齋藤藥學士

2570.70

京城日報　第三版　五日朝刊 (夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金七拾錢 / 廣告料 / 發行兼編輯人 / 印刷人 / 發行所 京城日報社 / 電話 / 振替

日支聯絡會議

京城日報

朝鮮鐵道の國際連絡業務は、年と共に發展し、其の聯絡の關係は歲を逐うて密接を加へつゝあり。元來朝鮮は、其の地理上より見るも、日本內地と滿洲との間に介在し、滿洲とは單に鴨綠江を境界とするのみにして互に陸接す。從て歐洲と極東との間の陸路交通の要路たる西伯利線と、之に接續せる東淸線、更に東淸線に聯絡せる滿鐵線と、互に接續して歐亞大陸交通の大路たり。而して又極めて近距離なる海峽を隔てゝ內地と船車連絡の便を備ふるが故に、朝鮮は之れを縱貫する幹線鐵道に由りて、既に日本內地と滿洲、進んでは露西亞との交通に對して、最も有力なる連鎖たり。鴨綠江の架橋と、釜山に於ける海陸聯絡設備との完成によりて、朝鮮鐵道が滿鐵線・東淸線・西伯利線と脈絡一貫、歐亞交通系の有力なる一部として、其の至大なる價値を備ふるに至りしは、未だ近年の事に屬すと雖も、僅か數年の間に於て、世界の大道たる價値を、著しく發揮し得たるは、一に朝鮮の地理的關係が當に然らざるを得ざらしめたる、自然の成行に外ならずして、此關係は永久不變の絕對勢力を有す。

嘗に前記日滿露交通のみにあらずして、又日支聯絡通路としても朝鮮鐵道は頗る重要なる地位を占め何れの聯絡にも樞要の關係を有する也。故に此の國際聯絡が發達すればする程、朝鮮鐵道の價値は增大すべく、要は只之れが最も經濟的に有効に用ゐらるゝと否とによりて、其價値に增減あるのみ。渠成りて水通ず。鐵道は水とは相依相關す。鐵道既に存するも、人と貨物とが之を利用するなきに於ては、文明の利器も其効用甚だ薄く、單なる虛飾に過ぎざらんのみ。况んや相接續して國際的に系統を成せる朝鮮鐵道の如き、其の價値をして充分に發揮せしめんと欲せば、其の方法は國際間の連絡輸送を圓滑便利ならしむる外、更に良策ある可らず。然かも是れ朝鮮のみの利益にあらずして、之に接續する鐵道の利益たるに外ならざる也。日滿露の連絡は、既に相當の發達を逐げ居ると雖も、尙ほ不備の點なきに非ず。而して日支聯絡に至りては、更に遺憾の點頗る少からず。既に三回の日支聯絡會議を開きて、雙互の利便を計るところありしが、今回は又京城に於て第四回の日支會議を開き、其の回數を重ねらるゝに從て効果の擧りつゝあるを見る、吾人の愉快禁じ能はざる所也。殊に今次の會議に於ては、問題の貨物直通聯絡の事も、彼我兩者の意思全然合致し、次回までには具體案を作り將に實行の域にまで進みたるが故に、此の會議の結果は、日支の交通に一段の光彩を添へたるものと謂ふべし。凡そ數線の聯絡事業、殊に國際的關係を有するものに在りて、互に誤解ある時は、假令故意ならざるも不便不自由は有り勝なり。故に誠意を以て相聽じ、常に相互の利便を計るを念とし、進んで意思の了解に努むるを最も肝要とす。今回の日支會議が、此點に於て最も効果多かりしと聞き、吾人は國際聯絡の上に、最も欣ぶべき現象なりとし、特に彼我委員の勞を多とせずんばあらず。希くば更に次の會議に於ては、所期の實行方法の講せられ、彼我の聯絡上遺憾なきに至らんことを。啻にこれ吾人衷心の希望たる也。

鱒鯉新養殖場

水產技師 庵原文一氏談

慶北當陽の大養魚池‖二個‖米國魚族と年々の魚仔數‖米國産虹鱒河鱒及び獨逸鯉の性狀‖將來の朝鮮産淡水産物

△鮮內の河川 は其の大なるもののみを數ふるも數十條に餘り、湖池沼澤亦水面積十町步以上を有するもの數百を算せり。然るに其の河川には從來鯉・鮒等を除くの外有用の水産物なく、又湖池に在りても鯉鮒等の魚族以外見る可きもの甚だ罕なるを以て、之等の河川湖池を利用して淡水産物の增殖を計らむが爲め、總督府に於ては種魚養成の目的を以て慶尚南道密陽郡葵火山外面に國有池を選び、之を修築して堤防延長約四百間、地坪面積約三千五百坪の

△大養魚池 となし、此處に亞米利加産虹鱒、河鱒、內地産姫鱒、並に獨逸鯉、內地鯉五種の親魚を飼養して魚仔を生産せしめ、其棲息に適當の水面を選びて或は河川に或は湖池に之を放流し以て其增殖に努む可く、大正四年度に於て工事に著手したるが諸般の設備大體竣成を告げ現在虹鱒、獨逸鯉、內地鯉の三種稚魚を養成し居れるのみならず、虹鱒河鱒は目下米國に注文中[illegible]度內には[illegible]一月の交には[illegible]の運を得る豫定[illegible]して尙ほ農商務省[illegible]

△養魚試驗場 より送附に決せる二萬の種卵も最近に於て到著の筈なれば本年度內には全般の計畫に對して優に其實行を見るに至る可し而して之等親魚養成の曉は、鱒類に在りては年々尠くとも百五十萬乃至三百萬尾の魚仔を產出し、鯉仔の如きも亦每年五十萬尾以上を育成する豫定にして魚仔の生育度合に從ひ各道に於ける河川並に湖池の水質を調査し、年に順を追うて

△之れを放流 す可し、此米國産虹鱒は淸水を有する湖池に在りては生育可能にして又河鱒の如きは放流せる河口を限度として棲息し河口外に逃逸する事なき性質を有し居れるを以て恰も其河川全面が一個の養魚場たる觀を呈し自然の養殖上頗る良適の魚族たり。姫鱒及び虹鱒も亦竟に湖池に止まらず河川の放流に適し、獨逸鯉は內地產鯉の棲息せる個所には何處の水面と雖も棲息せしめ得可き能なるが故に、之れ等計畫の進行に伴ひ各道に於ける淡水産物は今後著しき增殖を見る可きと共に山間僻地と雖も亦其鮮魚の美味を味ひ得可し

支那瑣談

○支那の政治狀態は普通一般の常識理論又は道德の標準を以て判斷することが出來ぬ、故に第一次革命以來騷亂の勃發する每に所謂支那通なる人々が種々豫言を試むるけれども一つも適中したと云ふことはない實に支那は解釋し難い國である

○支那に在つては戰爭は一種の請負營利事業にして兵卒は皆な純然たる傭兵である然るに世間には此の傭兵を以て英國の傭兵主義により募集した兵士と同樣に思うて居るものあるは大なる誤りである

○英國の傭兵は概して敎育もあり勇奉公の精神もあるゆゑに軍紀も嚴律も能く保たれて居るが支那の傭兵は大抵苦力を驅り集めたるもので單に給料の多寡により傭兵となるのであるから給料の貰はるゝ間は兵隊の服を著て働いて居るが一朝それが貰へぬことになると忽ち土匪と變じ强盜となつて良民を脅迫して財產を掠奪したり婦女を姦したりするのが通例である

○斯くの如き傭兵によつて戰爭するゆゑに勝ちたりとて必ずしも最後の勝利と云ふことは出來ぬ負けたりとて其の身さへ戰死せずに生きて居りさへすれば軍資金の調達次第何時にても兵士を集めて旗上げ出來るから失望するにも及ばぬのである斯う云ふことは日本人の頭には恐く了解らない

○支那の文明は北方にあらずして南方に發達したのである、由來支那の文明に貢獻したる民族は滿民族、土耳古民族、西藏民族、蒙古民族及び漢民族の五種にして、就中漢民族の寄與した文明は支那の歷史上最も多大にして又最も顯著なるものである

○故に漢民族の文明程度は他の民族よりも優越して居るのみならず彼等は懸かる同化力を有して居る其の數に於ても亦支那の人口四億萬中其三億五千萬は此漢民族なのである

○同一の漢民族中にも長江の兩岸を基礎とする南方文明と黃河の兩岸を基礎とする北方文明との間に著しき差違がある

○北方の文明は滿洲朝廷の壓制の下に成立せられたるものなるに反し南方の文明は漢民族自覺の結果自然の必要に胚胎したる漢民族の所謂理的文明に屬するものである

○それ故に北方の漢民族は武斷壓制に服從することに馴れて居るけれども南方の漢民族は合理的標榜を以て臨むにあらざれば容易に統御することが出來ぬ是れ南北漢民族の自然的區別の性情である

大阪財界便り

△資本放資と計畫 近時本邦資本を以つて海外に放資するの傾向[illegible]正貨[illegible]の利下を勵行[illegible]邦資本の[illegible]化したるとに[illegible]とす[illegible]のなるが最近に於て放資[illegible]んとしつゝあるもの左の如し
▲二千萬圓の資本を以て安徽省の桃冲鐵山經營、備鐵の當山站鐵鑛の採掘開始並に製糖等の計畫、內外綿の百萬圓起債して上海工場增設計畫、三井經營の紡績擴張、鈴木商店の南支方面の紡績事業に放資計畫、横濱の露國貿易業の資本金千萬圓を以て莫斯科に紡績會社設營計畫、桑港に日本棉花會社計畫、南洋方面の護謨拓殖會社創立の計畫

△模造紙價格協定 模造紙は一月中最高一封度三十五錢迄昂騰せるも三月以降漸次低落して現今二十錢を稱へ漸く內地と市場在庫品の停滯と相俟ち更に低落を誘致せんとする傾向あり且つ同業者中には區々にして需要者の不安を買へる事もあり是等の善後策を講する爲め此程洋紙商は組合事務所に會合價値の協定をなし十圓以上五十圓の罰金を課する事を決議し違反者ある場合は一俵に對し其の爲め委員十名を選定せる由なるが市場在庫高は凡一萬俵の見込なりと(大阪支局)

歐洲戰後の財政經濟(二)
聯合國經濟會議の要因

參列委員長 阪谷男爵談

△會議上の不便 國際經濟會議に參加する列國の代表者は、各々其地若くは其地に近い處の巴里で會議するのであるから、會議の模樣なり經過なりについて、一々電信で自國の政府とか或は商業會議所とかに相談が出來る、巴里と倫敦との間は電話で應答する便宜があるから[illegible]の如きは[illegible]つて居る。之に反して日本は行つて三週間、途中少し故障でもあると四週間や一月の日子を要し、巴里に到著後と雖も、會議の事柄につき一々非常な長距離の間を電信で本國と打合せねばならぬ不便があつて他の列國に比すれば萬事に暇がかゝる。從て此の會議は相當の長い期間を要するであらう。

△委員の分擔 經濟會議に於て商議し攻究すべき問題の範圍は頗る廣い事と思はれる故、我々委員は各々調査研究の科目を區別し之を分擔する事になつて居る、即ち鶴見君は商工業並に航海、電信に關する事項を受持ち、又田君は其の多年研究せる金融、財政、公債等一般財政に關する事項を分擔する事になつて居る此等の重大なる任務を帶びて歐洲に赴くのであるから、私共は東京出發前成るべく時間の許す限り政府當局は勿論民間の銀行家商工業家の意見を聽き參考に供することに努めた。而して一つに此の京城に立ち寄つたのも、一は日本と永い汽車旅行の事であれば、

△戰爭の終局 扨て、戰爭の終局については今日の所何とも豫言は出來ぬ、段々到著する各方面の情報を綜合すれば、此の戰爭も先づ峠を越したといふ觀察に一致して來るやうである。武力の方面も、又經濟の方面に於ても、追々終局に近づいて居るやうである。今日の所では交戰國双方共完全なる勝利を收めることは困難であると思ふ。一方が伯林を陷れて獨逸を屈服させる事も難しであれば、又一方が巴里倫敦に押し寄せて城下の盟をする事も六ケしいと思はれる。素より我邦の如きも聯合國側の一員として何とか致して完全に强味のある媾和條約を締結して戰爭を終結せしめたい希望である、最後に於て敵を屈服せしめる決心と希望を持つて居る事ではあるが、果してどうか、先づ五分々々の所で落著するものと打算して置けば間違ひはないであらう。

△戰時公債の處分 戰爭は時を越したとするも、茲に困難なる問題は交戰國が戰時中に犯した負債を如何にするかといふ事である、双方共每日一億五千萬圓からの軍費を消耗せしめて居る、一日に一億五千萬圓と云へば、我日本帝國の歲計の如きは僅か四日間に消盡される譯である。實に非常な軍費と謂はねばならぬ。而して列國は皆戰爭の爲めに紙幣を增發し、又極めて短期の公債が交戰國總體では積り積りて千五百億といふ膨大なる額に上つて居る。此の巨額の公債をどう處分するかは非常な大問題である日露役の當時日本でも歐洲市場で公債を募集した經驗でわかるが、倫敦巴里の市場の公債消化力は三十億乃至四十億圓が先づ普通で、それ以上の額になると困難である。今度は公債の整理について米國の資力を加へても出來るであらうか、それとても千五百億からの整理となれば大に困難を來すであらう。從つて各國は戰時中起した短期の公債を長期の公債に切替へる事に努めるであらう。それには各國が自國の公債の始末について他國より侵されぬやうにする事が肝要となる譯である。是等も聯合國經濟會議の問題の一であらう。

京日詩壇

○烏石村莊雜詠 永非 烏石

社鼓鼕鼕過立春。東風未度意涂津。都人誰向箇中樂。江上麥湫垂釣綸。

評曰。眞是漢江春初實況。上其鈎鯉魚能尺餘。其樂可想也。

大阪株式特電

七月限	[illegible]
八月限	一三三、八〇
九月限	一三三、六〇
十月限	一三四、〇〇

紡績新株	[illegible]
同上新株	[illegible]
東洋汽船	[illegible]
大阪商船	[illegible]
日本郵船	[illegible]
堂島米株	[illegible]

下關期米特電

▲四日後場(前場強き後場弱し)

京城期米

▲四日 後場

現物界

筋の態度

四日の七月限

廣告

地所家屋競賣

京城南米倉町武拾武番地(舊魚市場)土地百坪、同上建物木造瓦葺平家壹棟、拾武坪木造亞鉛葺壹棟地所
京城南大門通五丁目六拾八番地(舊魚市場跡)石張四拾坪、建物木造瓦葺二階建拾四坪六合武勺
同平家武棟五拾參坪五合參勺
同亞鉛葺平家建附屬共參拾武坪武勺
右本月十日午後參時旭町一丁目京城日丸水產株式會社市場ニ於テ競賣ス
詳細ハ御承合ノ事
延ニ京城日丸水產株式會社內伊熊
大正五年五月 山口太兵衛 中村再造 釜山市場精算人

タングステン

用手廻搗鑛機及大マグネット中根式鑛山機械は始政五週年記念物產共進會に於て賞牌一襲狀三を授與され朝鮮唯一の光榮を得鐵工界に於ける最初の受賞者たる
京城南大門通五
電話一〇四番
中根商會

複寫簿

カーボンペーパー
複寫紙製造卸
求特約店
大阪東區南久寶寺町 松屋町通南入
奉文舍印刷所
電話東三八九〇番 振替大阪二七六六番

御披露

今般京城斯道界の御招聘を蒙り左記の所に於て小笠原流諸禮式熨斗折方水引懸方敎授及花道生花池坊流 最も親切に指南を仕り斯道全般を御敎示可申就ては御披露の爲め來る五月七日より三日間拙宅に於て並に生花の陳列會相催し候間御來觀願上候
京城旭町一丁目九十四番地
小笠原流諸禮式熨斗折方水引細工花道生花池坊流敎授所
茶道千家表流 池田柳子

新刊書御案內

書名	著者	定價
浮城物語	矢野龍溪	九〇
生きんとする努力	大位燃風	九五
東京の近郊	田山花袋	一、五〇
日蓮聖人之遺訓	文學博士	五五
みだれ髮	小栗風葉	四〇
通信販賣小資本成功法	清水正己	五〇
日本全國女評判記	荒山岳川	六〇
家庭の衛生	下山順子	四〇
面白き英語の手紙	桑田春風	四〇
我家の顧問	文顧堂	七五
誰にも出來る株式相場	田尻鯉之助	一、二〇
田舍源氏	柳亭種彥	八〇
佛敎史論	境野哲	一、三〇
現代米國外交論	島谷亮輔	一、二〇
露西亞語學概梯	八杉利貞	一、二〇
無駄を省く法	佐々木十九	八〇
最近科學上より見たる音樂の原理	田邊尙雄	二、〇〇
意志の力	安田善次郎	六五
現代戀歌評釋	尾山篤二郎	六五
空中の奇禍	押川春浪	六〇
マクベス	坪內逍遙	一、三五
朝鮮諸官廳受驗者必讀法律講義	坂上綱吉	特 七五
國語漢文ことばの林	大澤柱月	特三、〇〇
新英雄主義	芳原華山	一、〇〇
生物哲學	土田杏村	一、〇〇

京城本町 大阪屋號書店 電話二〇八六 振替京城二五七三番

新運命を開拓せんとする靑年は是非とも本號を一讀あれ

實業之日本

△現代處世十訓 浮田和民
△時間を短縮して能力を增進したる實例
△立志美談 變裝の實業家
△獨逸人と英米人の比較 理學博士 菊池大麓
△淸富者は誰か 增田義一
△東西雙美の新研究所 增田生
△蠶絲業者の一大福音

▽十五大會社の青年社員採用法
△實力勝つか情實勝つか…採用の秘訣
△給料の多いと少ない…採用の標準
△採用試驗の奇なる現象…試驗の心得
△斯して人物眞價を見る…各社の料
△苦學生の採否如何…各社の意見

△水害地不毛地の新利用法
△資本百圓にて利益三割の小資商店
△靑年の危險病 博士 吉井東一(?)
△犧牲の人(模範社員美談) 東京 新井吉生
△大日本麥酒會社專務 植村澄三郎君 猿面冠者
△最新の器械療法 醫學博士 田代義德
△初夏の腦衛生法 醫學博士
△南洋に於ける日本勞働者活躍の機來る 手形の行衛(痛切の文字)
△犯罪敎訓 島國根性 新渡戶博士

五月一日發行 定價一冊十三錢 郵稅二錢 五十冊以上一割引 壹年分前金一圓五十錢 東京京橋 實業之日本社 振替東京三二六番

廣告

一月以降御便宜の爲め工費半減にて電燈取付御申込に應じ來り候處幸に各位の御同情に依り豫定の効果を收め候に付愈々來る十日限り右取扱を締切る事に致候從て同日以後の御申込に對する工費は規定通り復舊可致候間御承引被成下度此段廣告候也
大正五年五月五日
京城電氣株式會社京城支店

農業世界

五月號 鎌田榮吉氏の『根本的農業政策』を始め諸名家の有益なる卓說と實際家の貴重なる經驗とを山の如く滿載
定價廿五錢 郵稅二錢 (前金一冊四十九錢 六冊一圓七十六錢)
東京本町 博文館

池の坊 生花速習錄 附錄 盛花投入講義
通信敎授に依り僕の會敎で短日月に初傳より奧許迄を修得せしむ直接口授に勝る最新最良速習錄也
▲見本御申越は郵代進呈(郵券二錢要す)
東京神田表猿樂町四 大日本華道速成會

英語は樂に學べる

今迄やりかけては止め、やりかけてはやめして居つた人が本會の養滑講義録に依り初めて理想的に英語を學ぶ事ができたとの感謝狀が常に机上に山をなして居ます。英語の必要は今更云ふ丈野暮です、唯どーしたら樂に早く習へるかと思つてお出での方がありましたらまあ試みに本會へ見本附案內書を御請求なさい、これなれば英語が學べるときつと御滿足なさるでしやう。
東京市麴町區富士見町 大日本國民英語學會 電話番町三一七〇番

○王知事罷免と討伐
土匪と聯合し東邊の獨立を宣言

既報育金を拐帶して逃走せる王懷仁縣知事は其の後革命派の土匪等と聯合して反袁の旗を擧げ東邊の獨立を宣言したるが張將軍は早速王を罷免し討伐の大部隊を派遣せり（奉天特電）

○首相の兵役案提出

英國首相アスクイス氏は豫報の如く三日兵役強制に關する政府案を議會に提出したり（桑港電報）

○陸軍論功行賞

大正三、四年戰役の功に依り陸軍將卒同相當官二千百十四名に對する論功行賞は四日發表されたり其の主なる者左の如し（東京特電）

教育總監軍事參議官陸軍大將正三位勳一等功二級 一戶兵衛
陸軍大將正三位勳一等功二級 大迫尚道
陸軍中將正三位勳一等功二級男爵 山根武亮
朝鮮駐劄軍司令官陸軍中將正四位勳一等功二級 井口省吾

大正三、四年戰爭の功に依り金一千圓を賜ふ（從軍徽章併選）（各通）

○旅團長以下著發

市川旅團長以下將校四十六名兵卒六百七十五名は四日朝蓬北丸にて元山著五日午後一時四十分鐵路北に向ふ（元山特電）

○交代兵淸津著

交代騎兵第二十七聯隊工兵第十九大隊は四日朝松山丸にて淸津著上陸後騎兵隊は羅南へ工兵隊は會寧へ向ふ（淸津特電）

○駐劄部隊歸還

北鮮駐劄部隊の歸還先發として羅南野砲兵第九聯隊は四日朝羅南發正午淸津著松山丸にて內地に向へり（淸津特電）

○地方官更迭

去月二十八日山形縣より沖繩縣知事に左遷されたりとの評ある小田切磐太郞氏は辭表提出中の處今回勅許せられ其の結果左の如く地方官の更迭を見四日發表ありたり（東京特電）

大阪府警務部長 正五位勳四等 鈴木邦義
任沖繩縣知事（二等）
依願免本官 沖繩縣知事 小田切磐太郞
北海道廳拓殖部長 柴田善三郞
任大阪府內務部長（三等）
北海道廳警察部長 宮崎通之助
任北海道拓殖部長（四等）
鳥取縣警察部長 山宮鼎
任北海道警察部長（五等）
靜岡縣理事官 藤岡平一
任鳥取縣警察部長（五等）

○紛失機密書類

常磐艦に於て紛失したる機密書類は帝國海軍の行動を表はす信號書の一頁なりと（東京電報）

○滿洲戰跡歷訪

參謀本部第一部長陸軍少將宇垣一成氏は各師團參謀將校を引率四日午前六時三十分大阪驛通過滿洲に向へり用件は日露戰跡を歷訪し軍事上實地講話をなす爲めなりと（大阪特電）

○正銀秘密會議

正金銀行頭取井上準之助氏は三日滿洲各地の同銀行支店主任を集めて秘密會議を開きたるが同氏今回の用向は土地に對する放資其他滿蒙開發に關する準備なるべし（奉天特電）

◎醫師實地試驗

京城醫學專門學校內に於て四月廿日より施行中なりし朝鮮醫師開業試驗は……試驗の結果十一人に減じ更に第三部試驗成績は三日午後發表されたるが九人に減じたり而して右九人中內地……

◎日滿著發貨物運輸

三月中に於ける日滿著發貨物總輸送數量一萬三千四十噸にして之を南北行に分つときは鐵道院線並に鐵道局線發數量三千八百二十二噸南滿線發數量九千二百十八噸にして前年同月に比較し北行數量四百三十三噸を增加したるも南行數量は三千七百三十四噸の減退を示せり（左表△印減少）

			噸	前年同期に比し增減
北行	院線發南滿線著		一、三二一	△六〇四
	院線發東淸線著		五四七	四六
	局線發南滿線著		一、三九九	四三六
	局線發東淸線著		五五五	五五五
	北行合計		三、八二二	四三三
南行	南滿線發院線著		七二七	△六三八
	東淸線發院線著		―	―
	南滿線發局線著		八、四九一	△三、九一六
	東淸線發局線著		―	―
	南行合計		九、二一八	△三、七三四
	總計		一三、〇四〇	△三、三〇一

▲院線發南滿東淸線著貨物 南滿線著數量一千三百二十一噸東淸線著數量五百四十七噸合計一千八百六十八噸にして前年同月に比較するときは東淸線著貨物は四十六噸の增加なれども南滿線著貨物にありては六百四噸の減退を示せり例年三四月は滿洲各地共商繁期たるに不拘南滿線著貨物が如上の不振を示したるは輸送數量の大部分を占むる綿系布の激減に依るものにして其の輸送の減退は正月以來久しきに亙るが上安奉線運賃の新更期に迫るを以て本月は幾分の活況を期待せしが銀相場の暴騰支那動亂の擴大滿洲特產物の不作及び相場の軟弱等取引上に及ぼす影響鮮少ならざりし爲め輸送上の成績亦極めて不振に終れり次に東淸線著貨物は前月の盛況を承け減少を示したるも前年同月に比較するときは格別不良の成績にはあらざるなり輸送品種の最多を占むる綿絲布は東淸線著のもの相應の輸送ありたるも南滿線著のものは益々不振にして前年同月に比較するときは綿布六百三十二噸綿絲は九十四噸の減退を爲し滿洲需要期に於て前例なき變調を示せり右は前年と同樣主として內地相場の漸騰及び染料の高値に基因するものなれども亦前述の如く支那政變並に滿洲經濟界の不況にも因るものなるべし之に亞ぐものは綿布綿絲にして相應の商勳あり酒類麵干魚紙類亦五十噸以上の輸送ありたるが綿絲布を除き何れも前年に比較し特記すべき增減の大なる品種を認めず

▲局線發南滿東淸線著貨物 南滿線著數量一千三百九十九噸東淸線著數量五百五十五噸にして前年同月に比較するときは南滿線著四百三十六噸と東淸線著全部の增加なり輸送品種の主なるものは米、材木等とす

▲南滿東淸線發院線著貨物 東淸線貨物は前年は皆無なりしも本年は五十五噸の輸送あり又南滿線發數量は前年に比し六百三十八噸の減退を示せり右は大豆が內地相場不引合の爲め全然出荷なかりしが故なり輸送品種の主なるものは豆粕及び牛骨なりとす

▲南滿東淸線發局線著貨物 東淸線發貨物は昨今兩年共出荷なく南滿線著數量は八千四百九十一噸にして前年に比し三千九百十六噸を減少せり右は氣候の關係上石炭の賣行捗々しからず又鮮米代用品として多量の輸入ありし粟は本年殆ど皆無となり其他豆粕小豆の輸送不振なりしに因るものとす增加の主たるものは木材、コークス、礦石にして礦石は安東縣銅鑛、貉產銅鑛にして安東に於ける支那輸出關稅百斤に付約七十錢の高率たるも銅價昂騰の結果尙且相應の輸送を見るに至れり如上の統計に依れば成績最も良好なりしは局線發南滿東淸線著貨物も亦尠からざりしが其他の貨物にありては何れも不況にして就中院線發南滿線著貨物にして院線發東淸線著貨物の減退は前段述べたる如き事情に基き恢復の容易ならざるものあれば當分輸送上の頹勢は止むを得ざる處たるべし

◎第四回 日支鐵道聯絡會議
議事終了＝會議の經過

▲彼我の提出問題 今回京城に開かれたる鐵道會議は日支聯絡に關する第四回會議にして、五月一日より開會し四日を以て議了せり、其の調印は議定書の整理終了を俟ちて行はるゝ事となれり、此の會議に參加したるは支那國有鐵道の代表者、鐵道院代表者、南滿洲鐵道會社代表者、並に朝鮮總督府鐵道局の代表者にして開會劈頭大屋鐵道局長官を議長に擧げ、連日議事を進め來れり今回提出せられたる問題は、日本側より十二問題、支那國有鐵道の六問題にして、右の內日本側の提出問題は主に日支周遊に關する件と、日支巡遊に關する件等にして、支那側提出の問題は、日支の連絡運輸に關する件即ち主に支那の各地方に於ける聯絡に關する問題なりとす。

▲貨物直通問題 會議は五月一日大屋長官より開會の辭を述べ支那國有鐵道側よりはフォーレー氏代表して答辭を述べ、夫より議事を開き、提出せられたる問題につき研究討議し四日を以て議了せり。今回の會議を通じての最重要問題は日支兩國貨物運送の便法に關する件。此問題は一昨年東京に於ける第二回會議の際に論究せられ、其の結果之を昨年北京に於ける第三回會議に移して種々協議する所ありしが未だ解決に至らず、遂に今回の會議まで延期するの已むなきに至れり

▲解決遲延の理由 此の日支兩國間貨物輸送の便法に關する問題が解決せざりし主なる原因に就き支那側の說明を聞けば、支那の各鐵道間に於ても度々連絡運輸に關し協議を重ぬるも纏まり難きに況んや國際間の貨物連絡と云ふが如きは更に實現の期し難きものあらむ、其の主なる理由は（一）倉庫の缺乏せる事と（二）釐金稅の複雜なる關係の存ずる事とにして前者は其の缺乏を補ふこと敢て困難とせざるべきも後者即ち釐金稅の關係は最重大なる障碍をなし爲めに貿易上に多大の影響を及ぼしつゝあり從つて貨物聯絡の如きを行ふを甚だ難しとすと云ふに在り

▲彼我意見の合致 然るに今回の聯絡會議に於ては研究討議を重ねたる結果支那側委員と何等かの方法を以て貨物直通運輸の方法を講ずるの必要なる所以について日本側委員と意見合致するに至りたり、併し今日如何にせば其方法を決定して之れが實行を期し得べきやは直ちに決し難き困難の問題なれば結局次回の會議までに充分研究し置きたしとの意見出で、日本側よりも、然らば如何なる方法に於て之れを實行し得るかの具體案も提出したる結果

▲實行計畫 次回の會議開催前に於て各運輸機關を代表する調査委員を擧げ日本側支那側双方共詳細なる研究を遂げ具體的成案を作りて次回會議に貨物聯絡實行の礎地を作らんが爲め互に之を報告する事とし、今回の會議に日本側より提出せられたる實行計畫を參考として意見を纏むべき事に決せり、而して之れが交渉には支那側よりはフォーレー氏、日本側よりは鐵道院の木下局長之に當るべき事と決定したり、此會議に於て支那鐵道側も極めて熱心なる攻究の結果速かに貨物の直通聯絡を開かんとの希望を表明し從前未だ混沌たるを免がれ能はざりし本問題も頗る良好の經過にて具體案にまで進入するに至れり。

▲意思疏通の効果 其他に提出せられたる問題は大體之を議了し四日議事を終るに臨み大屋議長より委員の勞を謝して挨拶をなせるに對しフォーレー氏は、委員を代表して此度の會議に於て特に關係鐵道の代表者が相會して双方の意思疏通を計る事を得たるは非常の幸となすと京城に於ける優遇至らざるなきを謝し是れにて日支聯絡鐵道會議は議事を終了せり而して次回の會議は明年四月一日より東京に於て開催する事に決定せり。

◎牛心臺事件成行

本年一月二十三日に於ける石本氏經……件は直接係官たる本溪湖知縣の歸鄕せる等の爲め正式の解決は遲延し居れるも損害の賠償及び炭礦採掘石本氏に取りて頗る有利の者たる可しと（奉天）

◎議定書調印期

日支露聯絡會議

金剛山觀覽の途に就ける日支露聯絡會議委員一同は七日歸京、九日全部の議定書に調印を爲す筈なり

◎京畿長官訓示（下）

府尹郡守打合會に於て

教育は各位の努力に依り年と共に發達改善の域に進み今や內地人の集團地には小學校の設置を見ざるなく重要の部邑には概ね公立普通學校の設置を了し小學校三十四、普通學校六十を算するに至れり而して尙將來民度の發達に伴ひ益擴張の必要あるべしと雖も今後は先づ是等既設學校の整理及び內容の改善を計り特に實料教育に重きを置き益其の成績を顯著ならしめむとす又私立學校に關しては客年三月及び八月の改正規則に基き能く其の趣旨の周知に努め之を指導監督し就中宗教學校に對しては懇切に教育宗教分離の方針を說示し漸次改正規則に遵由せしむべし

道路は其の完成延長六百八十餘里に達すと雖も尙未成部分少なしとせず茲を以て一、二等線に對しては本年度以降大正八年度迄に國費若は國庫補助に依り之が完成の計畫を樹てたり然れども三等及び樞要等外道路に對しては更に府郡廳務主任會同の際指示せる如く各府郡に於て本年度以降五箇年計畫を樹て其の完成に努力するを要す又道路の維持修理に力を致さむか爲め本年度に於ては道路監視員及び修路工夫を增員したるを以て之と聯絡を計り地方慣行夫役の良慣習を助長し維持修理上遺憾なきを期すべし

納稅の狀況は漸次改善の域に進みつゝありと雖も納稅思想の發達未だ充分ならずして平素納稅の準備に意を用ふる者甚だ少なきが如し顧ふに年に豐凶あり金融に緩急あり物價に高低あるは古今免れざる所なれば納稅資金は納稅期に際し其の季節に於ける生產物其の他にのみ求めしめず恒常之が蓄積の途を講ぜしめ以て納稅者をして容易に納稅義務の完美を期せしむることに勵むべし

◎古海總長檢閱

古海新警務總長は三日憲兵隊司令部警務總監部本廳內の各課室內の檢閱を行ひたるが四日も前日に引續き午前八時より屋外檢閱として第一憲兵分隊衞生課分室活動寫眞室電話交換室留置場會計室倉庫等構內各建物を檢閱せり

◎立花師團長檢閱

第十九師團長立花中將は四日午前九時より步兵第七十八聯隊の檢閱を施行したり

◎金剛山觀覽

聯絡會議委員一同

入京中の聯絡會議委員一同は鐵道局三本營業課長、加藤經理課長、和田參事の案內にて四日午後六時十分南大門驛發臨時列車にて金剛山觀覽の途に上る

◎軍參課後任決定

駐劄軍參謀森少佐が中佐に昇進近衞步兵聯隊第一大隊附に榮轉せる後任として步兵第七十六聯隊附中佐小出三郞氏任補されたり因に森中佐は七日出發赴任の筈なり

◎相良少佐轉任

步兵第七十八聯隊附步兵少佐相良廣一氏は今回中佐に昇進現任の儘たるべしと

◎白水少將等歸任期

東京に於て開會せられたる參謀長會議列席の爲め東上中の白水駐劄軍參謀長及び須田第十九師團參謀長は來る十日頃歸任の筈なり

◎志村總裁招宴

勸銀總裁志村源太郞氏主催招待會は既報の通四日午後七時より朝鮮ホテルに於て開催寺內總督を始め荒井、大庭、宇佐美各長官、渡邊高等法院長、古海警務總長、鈴木兒玉兩局長、森高橋兩武官、勝田鮮銀總裁、野田東拓副總裁、水越鮮銀理事、岡子、趙鎭泰氏等出席し志村氏の挨拶ありて乾盃し次で寺內總督の答辭あり重ねて乾盃主客十二分に歡を盡し十時過散會せり

◎松永道長官披露宴

松永京畿道長官は四日午後四時より京城ホテルに於て新任披露宴を開き府協議員學校組合議員新聞記者其他民間の重なる人々及び一部關係官吏約百六十名を招待したるが席定まるや松永道長官の新任挨拶あり次で勝田鮮銀總裁答辭を述べ一同歡を盡して六時散會せり

人事消息

▲井出繁三郞氏（前北海道鐵道管理局長） 三日夜釜山へ
▲アドリユー氏（米國博物學者） 支那漫遊の途次三日夜入京
▲マツオキン氏（東淸鐵道員） 入京中の處先發四日朝歸任

南善北語

加藤海相が初めて舞鶴軍港を訪問した途中新聞記者の襲擊に遇つた▲海相早速面會して近來片方の耳が聾して居るから公職に係る話は更らに聞えぬ▲併し其れ以外の事は片方の耳で聞き分けるからとやつたので流石の記者連も相顧て苦笑▲大倉喜八郞翁客に向つて曰く▲世間では大倉組と支那人との借款がドーのコーとの云ふが誰が大將になるのだか雲の上で踊りを踊つて居るやうな連中に金の貸せる譯が無い▲支那の騷ぎを雲の上の舞踊と評した處は頗る面白い翁としては近來の名言だ▲早稻田大學講師の原口竹治郞君の妻君は稀代の才媛と云ふので有名であつた▲處が昨年妻君が黃泉の客となつたので原口君の失望落膽は他の見る目も氣の毒な程であつた▲其の後教室でも時々『亡妻が』を振り廻すので生徒の齒の間に大分揣んで居る▲所へツイ此間何かの講義の際ゼネレーションと云ふ文字があつた▲先生頻りに沈思吟して居て『亡妻は此の字を生代と譯しました』と來たので生徒一同は周章て皆萬歲者へ逃げ出したゲナ▲愛媛縣知事になつた坂田幹太君は當年とつて三十八歲天下の好男子を以て自ら任じて居るとの事▲殊に烏森で木更津節で名高い藝妓若福の弟子で僞體を拔き既に堂に入り師匠免許を得た人だ▲任命發表と共に新聞記者が訪問すると居合せた小栗秘書官が『君の社に阪田君の寫眞があるかい』と訊いた▲記者は本社になくても新橋か赤坂邊には澤山あるだらうと答へると▲側に居た阪田君にやりと笑ひつゝ『イヤあつても却々手放しはしまいよ』とは大に振つて居る▲此の粹知事を戴いた松山は定めて今頃は賑うて居るだらう

て罐詰を製造し輸入品を驅逐せんとの計畫にて已に傳家甸水昌街に東濱……

洞東警察署長 慶南警務部 忠淸警察署長 ……

……行せる巡查部長登用試驗は受驗總員約二百六十名ありたり而して京畿道……

……は前科一犯あり京城本町四丁目某牛肉屋に住込中昨年十一月二十三日集金二十圓八十二錢五厘を拐帶逃走し……

京日案內

普通（一回前金三十錢無割引）（匿名一回毎に金五錢增）
番外（一回前金六十錢無割引）（匿名一回毎に金五錢增）

普通

募集 賣藥行商滿洲行希望者は戶籍謄本身元證明書携帶上本人來談あれ 南大門通五丁目岐阜屋方阿波井

◎有給外交員採用月給廿圓以上希望者履歷書携帶本人來談 京城花園町一貳二 帝國圖書普及會支部 181

最新流行歌本類數十種荷著賣切れぬ內に御覽下さい 京城本町二電二五二七ウツボヤ書店 158

旅館讓受たし 京城旭町三丁目山崎電話一七九七番 176

◎店員一名至急入用 希望者は可成午後八時過來談 すぎ屋雜貨店 新龍山電車終點より一丁程手前 179

◎明治町フランス教會正門前 ▲ホテツキ▲うちみくじき治療 ◎電話二五九五番 荒川仁壽堂 180

◎預け度し四月生の男子乳の充分ある方に一ケ年間預けたし 本町壹丁目三參電話二六三六大正社 16[illegible]

◎諸病院又は患家の御需めに應ず ▲京釜看護婦會▼ 電話二八六三 旭町一丁目一參三 171

◎店員至急三名入用齡廿歲前後希望者は本人來談あれ 龍山鐵道構內 貴田屋雜貨店 173

◎有給社員募集希望者履歷携帶午前九時迄本人來談 シンガミシン會社龍山分店 174

◎店員入用◎商賣に經驗あるもの十五歲以上廿五歲迄◎要保證人 寶町二電話一五九〇小野タオル部 161

看護婦至急募集 京城櫻井町二の一八九電二九一二 朝鮮看護婦會 127

雜誌週讀會◎五月號著◎特典あり◎御報參上 京城本町一（電二三七八）松井松榮堂 112

◎外交員 書籍豫約募集に經驗有る者歩合手當を給す希望者履歷書携帶來談 京城蓬洞一九六 新文社 154

番外

小兒入用 自十六歲至十八歲夜間通學の時間を與ふ確實なる要保證人希望者本人來談 京城旭町一丁目三五電話六三〇番 白川質店

本店大阪南區道頓堀中座前 戎商會分店 名物浪花▲粟おこし 京城櫻井町一丁目 110

◎外交及支部長募集 月收數百圓確實現今最有望の宗教重要寶典問合郵券送見本進呈 東京麴町有樂町一の四日本佛教協會 177

本店新製 大十錢 小五錢 クリームキヤラメル パン元祖 木村屋支店 京城明治町 電話二八七〇 178

店員三名入用（得意廻）十六歲以上廿五歲迄◎要保證人 吉野町 岩城馨 料雜貨商店食部 168

礦物定量分析 京城太平通二ノ一二五 坂元分析所 電話一三四四番 165

藥劑師試驗制度發布せられたり受驗準備者は此期を逸せず直に入學あれ各級補缺者あり臨時入學を許可す 長橋通 朝鮮藥學講習所 143

自今三週間當院發每日下仁同期間の申込に限り本院規定の往診規則に據らず之に應じ候 京城北米倉町 京城婦人病院事務 電（四八二二）（四五二）（二三四二） 147

礦物分析 正確迅速 太平町二の二三〇 朝陽分析所 151

◎重石水鉛買入 京城瑞麟洞 大菱商會 光化門郵便局（橫川端）電話四八六

◎電話開通一四六（二）番（電路カミ） ◎ロクロ細工專業 ◎建築ぐり物 ◎諸車ロクロ製造 京城永樂町二丁目 上山 ロクロヤ 赤門通 109

外勤社員招聘 經驗有無を問はず 希望者自筆履歷書携帶來談 京城本町二ノ一〇六 太正生命保險京城支部 121

諸鑛石分析及測量 京城府鍾路三丁目八十八番地 金鍾商鑛業所 133

◎會員大募集 中學講義錄 新學期開講 申込次第見本附規則書進呈 入會最好期 京城觀水洞 大日本國民中學會支局 134

年金恩給類立替 短期無保險確實迅速照會あれ 京城武橋町二三番地電話一三八三番 京城日報社北方一丁 國江商會 144

帚廉タワシ類 製造販賣 東京 京城南大門通三丁目電話二〇九八番 栗島辰次郞 162

第九回決算報告

○貸借對照表（大正五年三月三十一日現在）

資產之部	金額
未拂込株金	[illegible]
地所建物	[illegible]
機械器具	[illegible]
貯藏品	[illegible]
未成品	[illegible]
製品	[illegible]
未收入金	[illegible]
貸付金	[illegible]
受取手形	[illegible]
假拂金	[illegible]
預ケ金及現金	[illegible]
合計	[illegible]

負債之部	金額
株金	[illegible]
諸積立金	[illegible]
未拂金	[illegible]
借入金	[illegible]
支拂手形	[illegible]
身元保證金	[illegible]
仕入預り金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

○損益計算書（自大正四年十月一日 至大正五年三月卅一日）

一金九萬八千六百貳拾壹圓五拾九錢壹厘 當期總益金
一金六千七百拾八圓九拾壹錢 前期繰越金
一金[illegible] 合計
一金[illegible] 當期總損金
差引金[illegible] 當期利益金

此分配左ノ如シ
金參千圓 法定積立金
金五千圓 所有物價却積立金
金六千五百圓 別途積立金
金參千圓 配當平均積立金
金五百圓 職員退職手當
金參千五百圓 役員賞與
金貳萬四千圓 株主配當金（年八朱）
金[illegible]千五百參拾圓八拾八錢七厘 後期繰越金

右之通ニ候也
大正五年五月

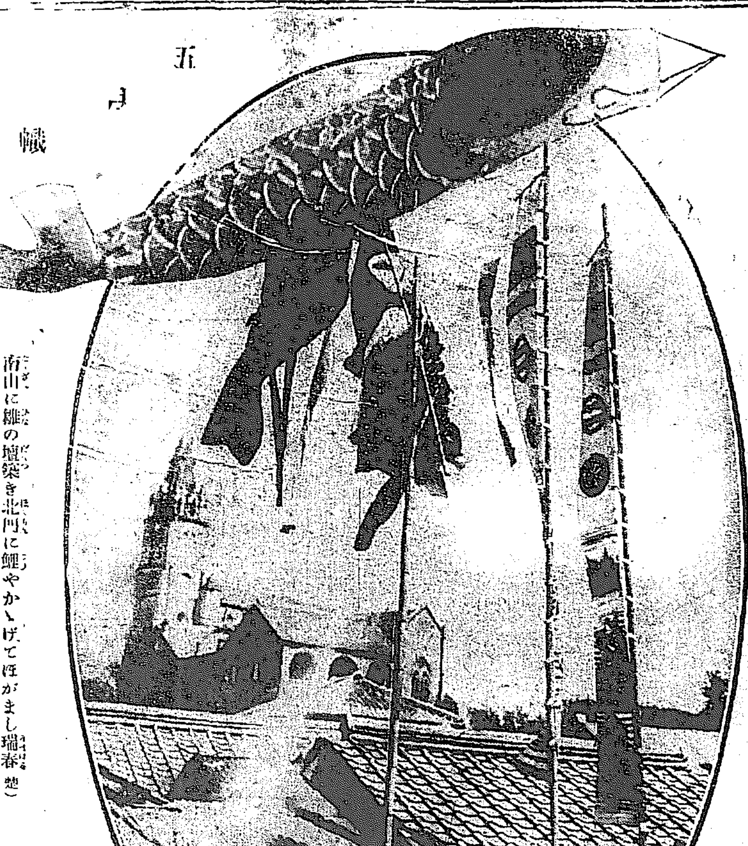
朝鮮皮革株式會社
社長 專務取締役 金子圭介
取締役 宇賀厚彥
取締役 武弘宜路
取締役 樋上專治郞
取締役 佐渡秀光
監査役 草刈隆一
監査役 岩楯林造
監査役 原修次郞

右監査候處相違無之候也
監査役任期滿了ノ處總テ重任セリ

各病院眼科醫指定眼鏡調製
眼鏡專門
▲定價表を發行致居り候
▲眼鏡一式に關する御照會を歡迎す
各種 金赤銀金 レンズ 張銅 緣緣緣緣 製作販賣
京城黃金町三丁目 振替京城一二九 宮川大學堂

…了せり受驗總員二十六人…一人内地人十六人ありたるが第一部…八日を以て結了すべく成績は來る十…武驗成績の結果十五人となり第二部…日午後發表すべしと

…支那官憲に於て甘々厭惡せられしも…來決して斯る事件を惹起さしめざる…石本氏より支那官憲に對する要求條…ことを保障し居れば結局其解決は…た渉からざるより土地の生産物を以…



五月幟

南山に雛の壇築き北門に鯉やかゝげて匪がまし　瑞春（楚）

城壁巡り

素晴しい人氣　興趣深き清遊

櫻の花が散つて慌だしい春は將に徂かんとして居る、滿城新綠に萌え立つた七日の日曜を我社は巡城遊の催しを試みんとする由來京城の城壁巡りは一部の健脚者に唱へられつゝあつたが

＝何分四里の山路＝

でもあり且つ通路があるか無きかさへ疑はれて居た爲め多くの人に試みられずあつた、それかあらぬか這回城壁巡りの發表と共に素晴らしい人氣を呼んだのは主催者の欣快に堪へぬところである、七日の日曜の城壁巡りは摺鉢の底のやうな京城のしかも摺鉢の緣のやうな城壁を巡るのであるから脚下に瞰下す京城市街や

＝遙に見渡す郊外＝

の新綠など如何にも興趣多き事であらう、會員は先づ七日午前七時半南大門小學校の運動場に集合して同じく八時出發の豫定、先頭には威勢のよい旗を押し樹て、猶ほむかし朝鮮巡城遊に試みたる古代の樂器を吹奏しつゝ進む筈、道順は先づ南大門から西小門、西大門に出で次いで

＝仁王山から北門＝

白岳を越え肅靖門に出る次いで東小門、駱駝山、東大門、奬忠壇、南山、漢陽公園を經て南大門で解散する、道は所々に困難な所もあり殊に白岳の東方肅靖門附近は城壁の上の砲眼を有つた謂ゆる雉とか堞とか稱する所を過ぎなければならぬ箇所もあるまた仁王山の背後なども相當な險路であるが併し大勢の團隊で行く事でもあり

＝興味も深き遊び＝

であるから健脚家には却つて物足らぬ山路かも知れぬ、また城壁の所々には外人の私有地もあり學校もあり病院もあり且邸内には鐵條網などを張つた場所もあるがこれ等は巡遊團隊の爲めに特に開放して貰ふ事となつた、併し西小門から西大門を經て仁王山に登る間の一部の如きは道が無く私有地に接し且つ城壁にも變化がないから團隊の

＝便宜上鳥渡城壁＝

を離れることもある、辨當は肅靖門内で漢陽の全市を俯瞰しつゝ喫める豫定、此所ではお茶の用意もあり且つ陸軍砲兵正領の魚潭氏が社告に掲げた樣な城壁に關する講話を試みる筈、殊に團隊が實際に踏査しつゝある城壁に就いて地理、歴史、傳説、築城等の興味津々たるはなしであるから餘程興味深き事であらう亦

＝會員諸君は各自＝

辨當持參の上成るべく身輕に裝はれたい、併し双眼鏡、磁石、地圖、水筒などの用意もあつた方がよい、特に途中は官私の植林地又は農園などを通過する場合もあるが樹木に對しては虐待なさらぬ樣御注意を願ひたい、兎に角始終脚下に全市を瞰下しつゝ一日四里の行程を踏破するも愉快な遊びであらう、但し老人小供婦人方は萬一を慮りお斷り申したい

◉所澤航空隊の搜索飛行　良好の成績を得

所澤航空隊にては四日午前十時負傷兵搜索演習飛行を行へり最初胸部手足等に様々の繃帶を施したる十數名の假裝負傷兵を麥畑及び樹下に配置し寺島軍醫川上中尉モ式第十九號に搭乘し約百米突の高度より地圖を片手にし地下に倒れ居る負傷兵の位置を搜索し同四十五分搜索を終りて着陸せり一方同部中尉は第二十二號機を操縱し寫眞機携帶の原田大尉を同乘させ飛行場を旋回し負傷兵及び場の西方に演習中の斥候兵を偵察し第十九號機と同時に着陸したるが此の演習は極めて良好の成績を得たり（東京特電）

◉重要機密書類の行衞　第四戰隊大搜査　兵士の上陸禁止

第四戰隊たりし軍艦常盤、千歳二艦は井出少將指揮の下に米國方面の特殊任務に就きしが此程無事任務を遂げ横須賀に歸著し茲に役務解かれて母港呉に歸著せしに其の呉鎭守府に廻送すべき重要機密書類が横須賀出港後

▲何者にか窃取 されしより大騷ぎとなり呉入港と同時に事態容易ならずとし呉軍法會議吉村主理以下の出張取調べとなり去月廿七日より休暇兵の上陸をも禁止し取調べたるも今に犯人判明せず鎭守府軍法會議は憲兵隊と協力し大搜査を秘密裡に續行中にて一日朝風見主理長崎を經て佐世保に出張せり吉村主理の談に或る重大の軍機々密書類の紛失は事實にて目下嚴重取調中なるが若しも右書類が

▲外人の手に渡る 時は由々敷大事なれば極力犯人逮捕に力むべしと語れり因に風見主理の佐世保行は曩に旗艦を常盤より矢矧へ變更されし爲め第四戰隊幕僚並に常盤兵員の轉勤者等の取調ならん（呉）

◉森肇氏の子息　世を悲觀し鐵道自殺を遂ぐ

三日午後八時十七分横須賀發上り列車が神奈川縣生麥地内の踏切附近を進行中高等學校の正服正帽を著けたる一人の青年線路内に飛び込み五體支離滅裂となり見るも無慘の最期を遂げたり取調べの結果右は東京赤坂區表町前代議士森肇氏（氏は目下平壤に於て開業中）の長男帝劇女優森律子の弟第一高等學校一部（法科）第一年生森房吉（二三）と判明したり自殺の原因は不明なるが聞く所に據れば同人は性質温順身體脆弱にして法律學生なるも哲學文學書のみを耽讀し沈默寡言の青年なりと言へば厭世の念を生じたる結果斯かる最期を遂ぐるに至りしものならんと（東京特電）

◉家庭の不和を苦にして　櫻丸初航海投身者の身元

二日午前入港連絡船初航海さくら丸より投身者ありたる事は既報の如くなるが其後取調べたる結果投身者は原籍佐賀縣杵島郡東川登村當時慶南金海郡金海在住森袋一（四七）と判明せり同人の名が連絡船名簿に記載なかりしは下の關出發後

▲間も無く投身 したるものらしく出帆の際四十六七の男がボーイに對し手紙二通を投函方を依頼し同封書は書留なりしより疑ひもなく投身せしものと確かめられたり袋一は元福岡縣武野にて小學校教員を勤め正教員の資格あり常に至極温厚なれ共酒は大好物にて明治四十年頃渡鮮當時馬山浦に於て合資組織を以て資本金五萬圓程の金融事業を始め居りたるも其後不振のため解散となり金海に於て個人にて日鮮人間に金融を業とし同地に於ける在住者間にも德望あり

▲日本人會々長 となり現在學校組合職員の職にあり其原因に就ては判明せざるも職掌と妻との折合悪しく家庭に風波絶えざるため渡鮮以來永き間妻と分れ居たる程にて常に家庭の面白からざる事を喞ち居たる由なるが或は夫れがため精神に異狀を呈せるならんと（釜山）

◉大牛三頭を提供せよ　墳墓發掘を種に脅迫

咸北道鏡城郡（鏡城）豐谷面豐溪洞韓信洪（六五）は四月六日午後四時頃同洞居住南己龍が自己祖先の墳墓近くに己龍の祖先を改葬したるを知り大に憤りて同人方に至り直ちに該墳墓を他に移葬せざれば

▲汝を殺して自殺 する決心なりと脅迫して契約證書を取り尙同月九日にも脅迫して證書を徴して途に發掘せしむるに至り同日信洪は長男韻國（三）次男明國（三）と共に其現場に出向きて自分が祖先に代り其方等を罰すべしとて居合はせたる南己龍南巳正、南炳植三名を毆打し各四日休養を要する創傷を負はせ翌日尙も信洪は己龍を自宅に招きて汝が埋葬に依り吾家にては祖先の祭をなさざるべからざるに依り其の費用として

▲百六十五圓提供 すべし祭りをなさゞれば家人及び一族皆死亡するに至るべければ汝は自殺して謝罪せよと脅迫して途に大牛三頭を提供すべき旨の證書を取りたる爲め咸興地方法院會寧支廳に於て信洪は懲役四箇月韻國明國の二子は各笞三十の判決となりたるを京城覆審法院に控訴したり

□端午の節句

初夏の綠滴る樣な葉陰から眞紅な鯉の吹流しや雄々しい武者繪の大幟が見るから心地よく晴れ渡つた五月の空に飜つて端午の節句が來た、菖蒲の香の軒端に匂ふ古事は廢れたが武者人形の前に粽、柏餅を供へるほどの慣はしは京城あたりでも行はれる、猶鯉の吹流し武者幟は比較的多く飾られて居る殊に室内の幟は便利として意外に多く賣れたとの事である男の兒を持つ家庭では此節句を利用し盛んに尙武的の談話や古い武具などの説明を爲るが宜しい、若葉の香りや碧の空に心躍る樣な此の期節は人心は何れも尙武的傾向を帶びて來るものと見える朝鮮でも古くからつい近い頃まで端午の節句には猛烈な石合戰を行ひ互に多くの死傷者を出した程であつた

◉五百餘名を相手取る

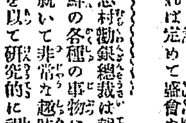
京城茶屋町金洪秀は高陽郡龍江面麗里亡韓英植の相續人韓吉皓外五百四十八人を相手取り大正四年十月二十八日京城地方法院に貸金請求の訴訟を提起したり請求元金額は一千二百圓にして被告側五百餘人は京城各町洞の居住布木商なるが原告人は明治四十五年中該布木商組合代表者亡韓英植に對し金一千二百圓を貸與したるも今に返金なきを以て右の請求訴訟に及びたるものにして此程原告の勝訴となりたる旨の判決となりたるより被告側より京城覆審法院に控訴中なり

◉古賀祐雄氏講會

書畫家古賀祐雄氏は今回書畫會を組織し會員に作品を頒つ由なり希望者は仁川新町二十一番地同氏宛申込めば規約書を送るべしと

◉馬術練習所開場

京城馬術練習所にては今回新に黃金町に廣大なる馬場を設け來る六日午後一時半より開場式を行ふ筈なるが猶當日は京城乘馬倶樂部員も同馬場に於て試乘會を行ふ筈なれば定めて盛會なるべし



志村勸銀總裁は朝鮮の各種の事物に就いて非常な趣味を以て研究的に視察して居る▲三日も午後の三時から漢城銀行の李支配人の案内で東大門外に趙東澤氏の自邸を訪問して料理萬端純朝鮮式の饗應を受け妓生の席畫までも見た▲そればかりでなく主人公の案内で室々を見廻り裝飾器具の類から最後には臺所にまで入込んで仔細に觀察して五時頃暇を告げた▲それから歸途漢城銀行に立寄つて朝鮮人事務員の執務振りを見る筈であつたが生憎行員退出後であつたので各室の視察丈けして六時過ぎ宿に歸つたさうだ▲志村總裁といへば此間千代本での總裁歡迎會の席で、酒數行に及ぶと例に依つて俳談が持上つた▲席に在つた豐永博士も何日の間にか俳心發起と見えて出來た處女作が『入は飲む我は食ふて花の下』俳號は丙登と付けられた

□朝鮮芝居

背景大道具の不完全―昔の芝居振―劇中の背景と誇張された仕科―見物連の大喜び―熱心に見てゐる妓生

暫らく觀てゐると舞臺が廻つて山道の場となつた、洋裝した婦人と洋服の紳士が現はれて矢張り解らない朝鮮語で何か言ひ合つてる、三藏宅の場でも然うだと思つたが此幕でも大道具なり背景なり遠見なりがすべて

▽内地式 で朝鮮らしい色彩も氣分も些しも表はれてゐない、その間に幕内主任といふやうな役を勤める野崎君が來た『内地人の方に見て戴くのはまだお耻かしい樣なわけで……』と笑つてる『ナァニ然うでもありませんよ』と言ふやうな顏をしてゐると舞臺

▽監督の 尹君が來た『どうも背景や何か不完全な所許りでお目だるいでせう』てな事を言ふ、君は内地に留學してゐた當時から芝居が好きで木挽町に許り入浸つてゐたといふ程劇通だ、さうだ、芝居の話になると中々通な事もいふし、相當識見もあるらしい

▽臺詞は 何を言てるのかまるで解らないけれども、その調子は日本の新派俳優と大した差は無い、元來朝鮮語といふものが抑揚に富んでゐるので極めて樂に口を衝いて出るやうだ、仕科も恐く日本の新派劇を模して演つてるが中々うまい所がある、殊に

▽三枚目 所の輕い滑稽味を表はす役はいづれもよく動いてゐるやうだ、しかし見物の方の要求から來るものだらうけれども、どんな場合でも誇張に過ぎる所があり、あくどい所がある、その癖幹部と稱する二三人の演出法は可なり自然に見える、尤も平素でも朝鮮の人は

▽芝居氣 が多いやうだ、こんな事を思ひながら舞臺の芝居見物のやうな氣で舞臺を見詰めてると白丁の張承模がチグを背負つて上手から出て來た洋服の紳士に穢多々々と罵かしめられて憤慨するのを洋裝の婦人が『マァマァ』と制める、そして容儀を正して

▽新平民 だつて今日では立派な國民の一員ではありませんか餘り侮辱なさるものではありませんと言ふやうな事をペラ〳〵と疊みかけてゆくので見物は大喜び、『チョッソ』といふ、その間に車夫が出て白丁が出て白丁の前を通ると變な臭ひがすると言ひ〳〵

▽通り過 るので張承模白丁烈火の如く憤つて『此奴！』と大喝一聲ついてゐた生杖を振り上げるので車屋は吃驚仰天『アイゴゥ』と大仰に叫んでドタバタと花道の方に驅け込んでゆく、こいつは面白いと觀てゐると趙一齋君が袖を曳く、何んだらうと振向くと『藝妓が來てゐますよ』と囁きながら

▽隣棧敷 を指さす、成程來てゐる、來てゐる、妓生が三四人、棧敷の大部分を占領して隙きもせず舞臺を眺めてゐる、役者と妓生―僕は茲に新らしい發見でもした樣な氣がした、趙君が面白い話をする。（つゞく）

内科　小兒科　婦人科　花柳病
筑紫（ツクシ）醫院
京城櫻井町一丁目（大正館南半丁）
（入院隨時）

醇良清酒
白鶴
仁川本町三丁目
增本酒店
電話一〇九番　振替京城八〇九番

日韓書房
新版報告
正田梅華著　諷方秘訣　謠曲辭典　定價一圓五十錢　送料十二錢
安井滄溟著　陸海軍人物史論　定價一圓　送料十二錢
酒井伯爵著　一坪で出來る　四季家庭園藝　定價一圓　送料十二錢
ペロポッツ回想記　歐洲政界奇談　定價一圓　送料十二錢
穗積博士著　法窓夜話（再版）　定價一圓八十錢　送料十八錢
京城本町二丁目

●診察無料　●藥價低減
京城本町四丁目（櫻井町角）電話三三四番
七星堂醫院
院主　鈴木慶藏
醫師　垣田精一
醫師　淵上彧

生殖器障害の一色
生殖器の外形が人並でなく發育不完全で包莖とか短小の人も又本能に於て陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不完、交接不快、快美減退、腦神經衰弱等の人も自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器を使用する時は一回毎に效力が現はれ豫想外の偉效に驚くべく知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讃湧くが如し詳細はハガキで申込あれ圖入說明書無代密送す
▲高評益高きか與み大阪に偽物有警戒せよ
東京神田かぢ町五　電話神田七三三番
眞空療法研究所

銚子港　田中玄蕃釀造
ヒゲタ醬油
代理店　櫻正宗發賣元
京城明治町一丁目
山邑京城支店

イケダ小兒病内科醫院
池田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目　電話（醫院）一三四番（自宅）八八〇番

堀井謄寫版
堀井を冠せるもの斯界の白眉なり
粗惡なる模造品に迷はさるゝ勿れ
京城南大門通二丁目
（堀井）謄寫堂京城出張所
振替京城一〇五八番

千生瓢 (204)

須藤南翠作 筒井年峰畫

長瀬(四)

やがて近習に導かれて、篠木、柏井の豪族村瀬作右衛門、森川權右衛門は、勝入齋與婿對座の席に入り來つた。勝入齋は近習に命じて、固く人の出入を禁じさせ、面を和げて間近く進ませた。

『近う參らう、兎角外聞を憚る儀、間違では和談が致し難い』

斯う言つて武藏守に向ひ、

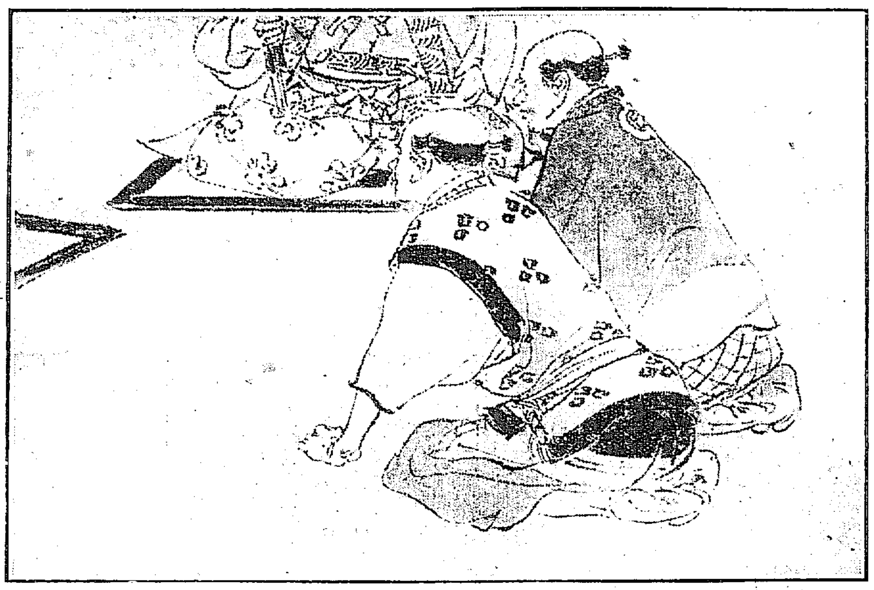
『武州、この村瀬作右衛門は、入道まだ勝三郎の昔から、至極入魂に致す者ぢや。此度ちと申し談ずる仔細あつて、密々呼寄せておざる』と言つて、更めて彼等に向つた。

『これにござるは入道が聟ぢや。人傳にも聞いたであらう、鬼武藏守と稱ばるゝ男ぢや。敵に向へば鬼ともあらうが、平生はこの通りの佛ぢや。何事も斟酌致さず、委細申し談ずるやうに』

『御意畏り奉つる』

村瀬作右衛門は謹んで言受して、

『仰せ含められた一儀、此れなる森川權右衛門に申し談じまいたる處、



忽ちに同心仕りまいておざります。乃ち二郷中の一向宗の門徒を驅り催して、御味方に馳せ參じ、三河への通路に要害を構へて、兵粮の運送を妨げ、殿御出馬あるに於ては、我等御道案内仕るべく、委細御指揮に隨ひ申すでおざりまする』と、與力の次第を申し述べた。

『門徒に於ては、必ず心得あるべき事とは存ずるが、去年紀州鷺の森より、泉州貝塚に本願寺を徙す事に就いては、筑前守殿一方ならぬ合力あつたと承はる。三河の三門徒と、家康と矛盾に及んで、三年の間鎬を削つたのは、永祿五年の事なれば、面々今以て相忘れぬ儀と存ずる。門徒に對する兩家の扱ひは、箇樣に雲泥の相違がある。能く此の所を辨へて、篤と分別致すやう、兩人よりも申し含めて可からう』

勝入齋は十分一向門徒の心を得るやうに『織田と本願寺との爭亂、十一個年に及びたる間、秀吉が一回も此の戰鬪に參加しなかつた事蹟を説いて、秀吉が一向門徒に對し、些の敵意をも持たぬ事を詳述したのであつた。

京城大和町三丁目(元老泉別邸)
中谷醫院 内科小兒科
電話一〇三三番

兩人は篤と勝入齋の詞を傾聽してゐたが、兩人詞を揃へて、

『仰せ確と承知仕つておざりまする。鄕民共の儀は我等次第とおざりますれば、此上の御配慮は御無用おざりまする。唯我々へ御指揮を願はしう存じまする』と申し出た。

勝入齋は鈍々得意滿面になつて、

『武藏守殿もお聞きやる通り、此者が馳走にて、篠木柏井の門徒等、孰れも裏切致すに於ては、小牧山の糧道を斷つて、彼處を孤立せしむる事は、掌の裡に握つたも同様ぢや。此上は入道より中入の議を立てゝ、三河の國の虛を衝くに於ては、更に大軍を動すまでもなく、此合戰は容易に勝利と相成るであらう。是れと申すも兩人が盡忠の致す處、作右衛門、權右衛門は、兩大將となつて、權右衛門は三河の通路に要害を構へて、堅固に相備へ、小牧山の交通を相斷ち、作右衛門は一揆共を相率ゐて、時分を計つて裏切致すやう、委細の動き組み入る』と、申し達するさへ、抑へ難き意氣が昂るのであつた。

作右衛門、權右衛門も大將の命を拜して、悅びに堪へぬ風情が見えた。即ち兩人も委細の指揮を受くる事として、兩人は退出した。

勝入齋は殆んど得意の頂點に達して昂然として武藏守に語つた。

『其許が會稽の恥を雪ぐは、もはや數日の間ぢや。入道是れより犬山の本陣に出仕して、中入の一戰を申し請ひ、其許と我等と先陣に當つて一路岡崎城を乘つ取り、田原、吉田の諸城を落して、三河一國を一統するも、決して遠い事ではおざらぬ。其許は急ぎ出陣の用意を整へ、筑前守の沙汰を相待れよ。兎にも角にも入道は本陣へ出仕致すぢや』

衝と坐を立ち上つて、

『誰そある、入道が乘馬を牽け』と大音聲に命ずるのであつた。

新刊紹介

△民政史鑑 自序に曰く『明治の維新……』

△東洋時報(二一一) 引續き朝鮮問題……(一圓五十錢 東京市……東洋協會)

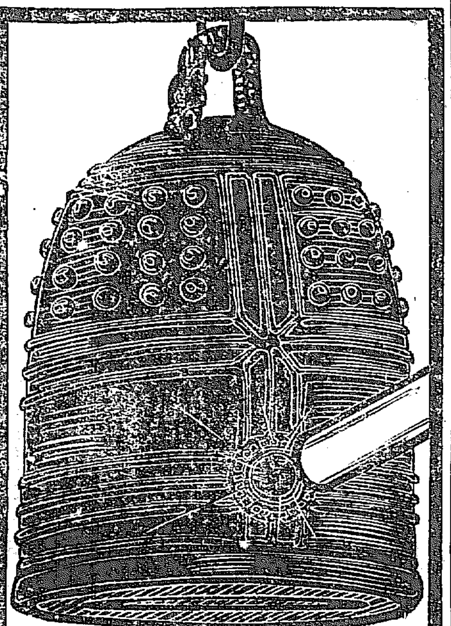
△改定増補古錢價附 日本朝鮮支那安南……

△角力世界(五の四七) 角力道唯一の機關雜誌なり 二十錢(東京市京橋區瀧山町一角力同好會)

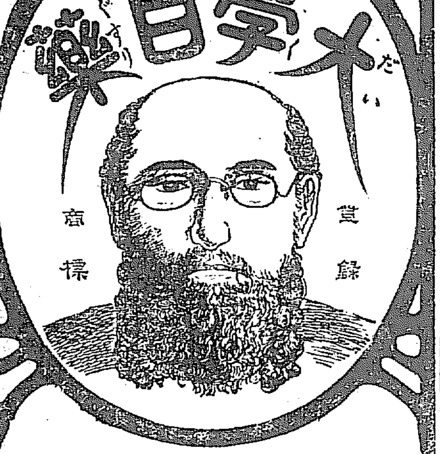
△婦人週報(二の一八) 四錢五厘 東京市牛込區市谷田町二の一七其社

△ゼ、ジャパン、タイムス、スチューデント、エヂション(五の一八) 十二錢 東京市麹町區内幸町ジャパン、タイムス社

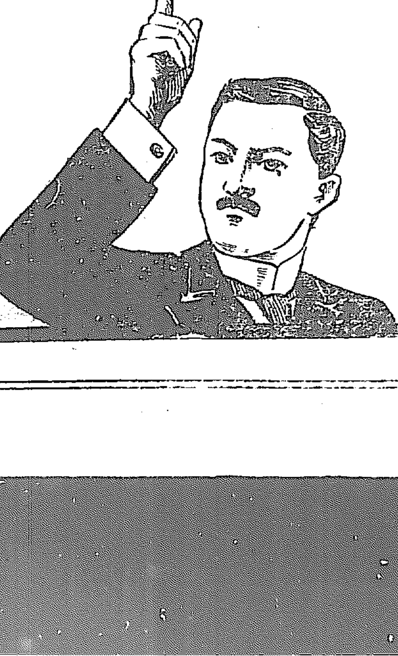
△戰友(五月號) 七錢 東京市麹町區飯田町二の五二帝國在郷軍人會本部



聽け此響!



大學目藥だにあらば諸君の家庭より眼病を排除する事を得べし。蓋し現代眼科治療に關する總ての智識は大學目藥の配劑中に蒐められたるを以てなり。



七日ツケタラ鏡をどらん色白くなるゲンソ液 二十錢 徳用四十錢

今東京で大評判の白美の元素色黑き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く眞の美人美男子となる 全國の藥店小間物化粧品店に販賣す 近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す 東京和泉橋際ゲンソ液本舖 松本藥店

功勞と功勞

祖先の功勞は重代の武具に著く

藤澤樟腦の功勞は家寶の安全なるに依りて證明せらる

定價 大形金十二錢 中形金七錢 小形金五錢 特大形 大陸金五十錢 小匣金十錢

各地藥店小間物店にあり

タイヨー 萬年毛筆

新案特許三六二九八號 六月十五日迄 特價六十四錢 替穂金八錢 京城日報社代理部

御菓子は滋養に富む 人蔘キヤラメル!! 花は加五里(大十錢 小五錢)

遊山お花見には携へて心嬉しい煙草代用となる……人蔘キヤラメルを必ず御携帶あれ

製菓元京城藤商會にては皆樣の爲に今度同地に出張販賣店の設備あり

尼崎汽船部仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行

大正丸	五月 日	後四時出帆
大有丸	五月十二日	後五時出帆
神代丸	五月 五日	後五時出帆
大吉丸	五月 九日	後五時出帆
秀吉丸	五月 日	後五時出帆
君が代丸	五月	

仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○外航所屬航路(臨時航路を除く)關連聯絡の時は五分間を以て通船切符發賣仕候

○	安東丸	群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 五月十一日	午後五時出帆
×	油頭丸	五月 八日	
×	須磨丸	五月十四日	
○	木浦丸	釜山、嚴原、鄕ノ浦、長崎行	
×	信濃川丸	五月 六日	後二時出帆
×	信濃川丸	五月廿四日	後二時出帆
○	鎭南浦丸	大連行	
×	信濃川丸	五月廿四日	後二時出帆
×	信濃川丸	五月 六日	後二時出帆
○	大連直行		
×	福州丸	五月廿六日	正午出帆
△	潮州丸	五月十二日	
木	浦須磨丸	釜山、關門、神戸、大阪行 五月 日	午後二時出
○	群山丸	釜山、横濱行	
	潮州丸	五月十六日	午後二時
	福州丸	五月三十日	出帆
×	商貞丸	浦潮行(元山出帆)	
△	印八城津丸	西湖津ニ寄港浦潮不寄港	
○	宮島丸	五月十八日	午後二時
▲	平安丸	五月 五日	出帆
○	上海、基隆、打狗行(大連出帆)		
	湖北丸	五月 五日	前十時
	基隆丸	五月十五日	後四時出

御注意 ○…印は…大阪商船會社仁川支店 電話二番二〇五〇 京城切符發賣所 京城…運會社支店 電話七〇八

阪神共同汽船仁川出帆

朝鮮郵船會社命令航路 芝罘、大連行 五月五日 午前九時出港 五月七日 入港

共同丸 朝鮮沿岸…

第一阪鶴丸 城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 月日後九時出帆

西湖津沿岸各港を經て雄基行 月日前八時出帆

大阪商船共同汽船株式會社 本町一丁目(電話一〇八番) 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河合運送店

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行

相模丸	五月 五日	正午出帆
高砂丸	五月十一日	正午出帆
三河丸	五月廿三日	正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 神丸	月	日後五時出帆
○元山清津浦鹽行 神丸	月	日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸	月	日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸	五月	日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸	月	日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸	五月	日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 大興丸	毎月三日九日十五日廿一日廿六日	午後十時出帆

釜山本町 大池回漕部

朝鮮郵船出帆

全羅丸	五月廿二日	釜山發
京畿丸	五月十二日	釜山發
黃海丸	五月十六日	釜山發
成鏡丸	五月 六日	釜山發
穩城丸	五月 日	元山發
昌平丸	五月十一日	元山發
鏡城丸	五月 七日	元山發
忠清丸	五月十六日	元山發
平安丸	五月 八日	元山發
永興丸	毎月廿八日	元山發
盛德丸	五月十三日	釜山發
江陵丸	毎日	(釜山浦項)發
三浦丸	五月 五日	釜山發
海州丸	巨濟丸	釜山發
統營丸	慶寶丸	釜山發
順天丸	三日目毎	木浦發
慶興丸	五月 十日	木浦發
公州丸	五月十四日	木浦發
公州丸	五月 八日	木浦發
宗信丸	五月 六日	仁川發
江原丸	五月 八日	仁川發
龍水丸	五月十一日	仁川發
晋州丸	五月 六日	仁川發
錦江丸	毎日午前	仁川發
南陽丸	五月十六日	群山發
平安丸	五月十七日	若松發

本社 京城南大門驛前 電話長一九五二番 京城荷客取次店 松原運送店(電話一一七〇)

商況 大阪三品 大阪期米 東京期株 大阪株式